(年中無休刊)　大正七年一月十一日　第三千七百二號（一）

京城日報

十一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

○戰爭の目的と要求
米大統領の教書發表

米國大統領ウイルソン氏は八日長文の教書を發表したるが内容は露獨の講和會議に就きて論じ同時に米國の戰爭目的及び要求を聲明し米國市民は之等の原則に對し其の生命財産其他一切の所有を擧げて之が貫徹に決意し居れりと述べたるが其の要求は左の如し（華盛頓電報）

一、列國が國際條約を實施する目的を以て全部若しくは一部の閉塞を爲す以外の海洋に於ては航海は絶對自由たる可き事
二、經濟上一切の障壁を除去し通商條件の平等を確立す可き事
三、國民軍備の制限
四、總て植民地問題は居住民の利害に應じて整理する事
五、露國の領土内より一切外國軍隊を撤去せしめ露國を其の人民の自ら選定する制度の下に自由國民團體中に加入せしむる事
六、波蘭を獨立國とする事
七、特別國際條約を締結し民族の大小を問はず等しく政治上の獨立及び領土の保全を保障する事
八、白耳義を恢復し其主權を制限せざる事
九、佛國の領土は一切外國より解放し之を恢復せしむる事
十、伊國々境の改訂
十一、墺匈國に對しては自主的發展の機會を與ふる事
十二、羅馬尼、塞維、黒山國に對しては外國軍隊を撤去せしめ原形に復せしむる事
十三、オスマン帝國中土耳古民族の居住する區域は其の主權を保障し干渉せざる可き事又土耳古人統治の下にある他の諸民族に對しては自主的發展の機會を與ふる事
十四、ダーダネルス海峽は開放して各國の自由航行及通商を許す事

○臨時參議院開會

臨時參議院は九日開會國會組織法及參衆兩院選擧法を討議決定の上閉院せり（北京電報）

○兩軍戰闘開始か

南北兩軍は晋京附近に於て戰闘開始の報あり政府は停戰命令を取消すの止むなきに至る可し（北京電報）

○客年油房生産

昨年中に於ける大連油房生産額は豆粕二千百二十四萬五百枚豆油五千六百八十八萬四千五百斤なり（大連特電）

○荻田局長等通過

荻田鐵道局長、岡本遞信技師、松尾主計正等十日朝釜山着午前十時半發列車にて何れも京城に向へり（釜山特電）

○亞露事情
西伯利亞歸客談

▲押へる力が微い　露本國の擾亂から夫れが極東に於ける露領に波及したる近來の情勢に就ては如今日々變化しつゝあるとは云ひでふ其大體は既に周ねく世間に知られゐるが原來北滿の露國租借地から露支國境に近き西伯利亞の治安は如何にして保持されてゐたかといふに東清鐵道沿線は例のポーツマウス條約に依りて二個師團以内の守備兵を駐め鐵道長官の指揮下に置き西伯利亞には其の露國の領有に歸せし以來哥薩克屯田兵の制が設けられてあるし

▲護境軍としては　沿黒龍江軍管區貝加爾外軍管區等が置かれてあるが之れは大藏大臣の管下に屬し其任務は税關の保護を主とするのである然るに歐洲開戰後哥薩克屯田兵も全部其他も事情の許す限り露獨墺戰線に送られたので最近に至りては兵員は餘り多數残つて居なかつた筈だ過激派に與して亂暴を働きつゝあるのは大抵娘子兵の一部と勞働者や無頼漢の集團である其中には兵士の服裝をして強盜を專門に働いてゐる連中も交つて居るらしい何にもせよ太した勢力を有する譯でも無いが之を押へる力が微弱だから困る

▲不換紙幣は二種　露國の貨幣の下落は實に甚だしい殆んど底知らずに落込むだ併し今尚通貨として或價値を有し圓滑に流通しつゝあるのは貨幣其物に對する信用からでは無くて物々交換が不便なので已むを得ず賣買の媒介に充てゝゐるのかも知れない何しろ本年六月法令を發して廿留と四十留の二種の不換紙幣を發行した其他は總て兌換券で券面には本位貨と引換ふる旨を銘記してあるがそはいふものゝ何ものが其責任を帶ぶるかと疑問であつて見れば紙幣として幾許かの價を有するのが

▲寧ろ不思議な位　で前に述べた通り便宜或る價を附して取引の用に供してゐるより外取引されない而して此の貨幣を以て取引される食料品其他の物資が何地より如何にして供給されつゝあるか或は兎も角も需給相應じつゝあるかといふことは之を詮索すれば貨幣の價を認むるものは露國のみならず將た外國にも之れ有りや物資を供給するものありや

▲有力なる材料と成る　のみならず自ら露國の將來に對する外國の意向若くは態度をも測り得るのであるが予は茲に予の視察の結果を發表するの自由を有しない

◎辭令傳達式

十日午前十時より總督室に於て左の通り辭令を傳達されたり

陞敍高等官五等賜二級俸	李王職事務官	末松熊彦
陞敍高等官五等賜二級俸	同　贊侍	金永甲
陞敍高等官五等賜二級俸	同　贊侍	朴胄彬
陞敍高等官六等賜二級俸	同事務官	武藤文吾
賜一級俸	同　技師	金倫求
賜一級俸（各通）	同　事務官	韓相鶴
	同　同	趙東源
	同　典祀	閔達植

◎舊臘貿易

十二月の朝鮮貿易額は輸移出品價格九百六十六萬二千餘圓輸移入品價格一千百八十八萬七千餘圓合計二千百五十四萬九千餘圓にして前年同月に比し輸移出五百三萬七千餘圓を何れも增加せり而して一月以降累計貿易額は輸移出百七十七萬五千餘圓輸移入二百八十八萬六千餘圓合計一億八千六百六十六萬二千六百九十餘圓を前年に比し輸移出二千六百六千二萬三千餘圓（四割八分）輸移入八百四十二萬九千餘圓（ [illegible] ）合計五千五百四十萬三千餘圓（ [illegible] ）の各增進にして [illegible]

▲内容に就き　前年同期に比較觀察するに輸移出は [illegible]

▲各激增せし　[illegible]

▲棉花は産額　の激增に因り出廻盛況を呈し增加額七十六萬八千餘圓を算し前年の輸移出に比し [illegible] 七萬八千餘圓を減じ其他牛皮に四十八萬六千餘圓皮革製品に三十萬一千餘圓を減少せしも [illegible]

▲米國輸出　[illegible]

▲世界的　の貿易品があらうとは從來の航路が當局の命令により開かるゝやうになつたが、更に定期の命令航路を設けて上海方面にも新開し [illegible] 朝鮮郵船今後の使命である [illegible]

◎滯貨增加原因

[illegible]

◎沿岸航路と對外航路
朝鮮生産の物資を世界的に
朝鮮總督府遞信局海事課長　松崎時勉氏談

▲朝鮮の航路　並に船舶と云ふ事に就ては豫て原田社長からも承はつてゐたし色々の書類によりて其の概略は知つてゐたが、愈々其の任務に當つて見ると朝鮮の沿岸航路並に航船は必らずしも理想的と云へないけれど必要以上に行渡り船も小さい乍ら整備してゐると思はれる此點に就て總督府の當局者が沿岸の必要に應じて航路を設けたと云ふより沿岸の開發の爲めに航路を開き相當以上の汽船を就航せしむる方針をとつたと云ふ事が充分窺知する事が出來る、唯朝鮮を基點とする對外航路…對外と云ふ外國の意味でなく朝鮮の意…は不遺憾殆んど今日に於て多くを數ふる事が出來ぬ、僅に

▲浦鹽航路　と阪神臨時航路 [illegible] ……中です

[illegible] 未だ幾干も日が經たぬので目下頻りに朝鮮の海運界を研究中です

北海道

の使命を開つてゐる朝鮮生産の物資は北海道とは風土の關係上 [illegible] 其の需要も前途多少の値下りはあつても悲觀を要しないと云ふ方面に朝鮮の當局が幾干の力を注いでゐられるかは新參者たる

□年頭に際して
京畿道警務部長　鹽澤義夫

一陽來復年茲に新なり吾人は先づ此年頭に於て改めて國運の無窮を祈り併せて六千萬同胞の幸福を斯待して止まざるなり顧みれば大正六年は曠古未曾有の其戰役の裡に明け砲煙彈雨の間に暮れぬ然るに帝國は獨り安固の和の此新春を迎へ得たるは實に聖代に遭遇せる同胞の絶大なる幸福として感謝の念轉た禁ずる能はざる處なり特に朝鮮にある同胞は其内地人たると朝鮮人たるとを問はず一視同仁等しく撫育の德澤に浴し新年の佳辰に遭ふに際しては一層此感を深ふす之れ偏に我皇上の御稜威にして世界に類例なき國體の賜に外ならず同胞の一日も忘るべからざる處なり而して我帝國は日英同盟の誼を尊重し此大戰に參加し青島を陷落し南洋獨領諸島を占領し併て東洋の平和を保全することを得たるも宣戰發布の目的は尙遂に達せず帝國の内外に向ひ負ふ所の責務は是より愈重大なる者あり君人は深く此點に省み其祈禱の依りて來る所を闡明し一層緊張の精神を以て自覺奮勵の萬一に酬ゆるの覺悟なかるべからず想ふに朝鮮に於ては幸に總督政治の方針の下に暴戾の秕政を改善し殖産興業の普及發展を圖り民衆の幸福を增進し一面公正なる司直に依り各人の權利は尊重せられ公平無私の取扱を受け居れるを較ぶれば得國人は鮮人を蔑視し一攫千金を夢想し啻に穩健を缺くのみならず鮮人も亦新政の眞味を解せず猜疑の心を以て之を迎ふるものあり或は迷信に假られ不時の災禍に遭へる或は急激なる文化の潮勢は頗る質素の風を失し或は虛榮に走り權利を懸誇り醇朴の風を薄漓し [illegible] 張りて訴訟の風を助長するが如き者なしとせざる [illegible] 反省努力を要すべきこと少からざるべし今や溫ねく鮮地の同胞無心の梅花は [illegible] 前に漂ふて溌剌たる一道の瑞氣上下を通じ年頭茲に小感の一端を叙ぶると云爾

千里行く馬の年こそ立ちにけれおもふがまゝにわれもすゝまん

◎鮮銀券搬込

鮮銀行にては新株の第三回拂込總額十七百五十萬圓の拂込みを徴する事となりしが其の金額は一株二十五圓にして期限は一月三十日より二月四日までの五日間なり右の拂込みにて鮮銀は新資金を難に得る譯なるが何ほ同行の業務に伴ない流通資金を要するも増加す [illegible] 拂込みを以て鮮銀の拂込濟資本金は一千七百五十萬圓となるべし

◎金品貯蓄狀況

最近調査に依る京畿道管内金品貯蓄狀況を聞くに團體數三百五十九にして現金二十三萬六千七百七十七圓物品籾米其他金錢換算高合計三萬一千九百九十六圓四十五錢九十錢なりと

◎朝鮮製粉創業期

鎭南浦朝鮮製粉株式會社其後の經過を聞くに同社は目下機械注文製作中にして近く全部竣成の運に至るべく又株券も既に印刷を了へたれば日ならず配布の筈なるも目下酷寒の季節なれば工場建築不可能なるを以て解氷後直ちに著手すべく操業は本年の麥收穫期以後なりと

◎鷄の瀬掛燈改築

釜山港　鷄の瀬掛燈立標は改築工事のため一月上旬より撤去する事となりたるが右改築中毎夜水面より燈火に至る三十二呎の第六等不動白色燈を點火し其の光達距離は晴天の夜八哩なる旨當局より告示したり

◎仁川碇泊船注意

仁川港内に於ける沈沒船南越丸の船體 [illegible]

◎昨年大連貿易

昨年中に於ける大連海關稅額は三百七十萬七千五百兩なるが之を從價五分稅として輸出入額八千百三十萬圓之に關東州にて消費せる無稅輸入品を合せ約一億六千萬圓餘の貿易額となれり（大連）

◎新年の鐵道收入

滿鐵京城管理局一月一日より同五日に至る五日間の運輸收入概算を聞くに旅客收入六萬八千九百五十四圓貨物收入四萬八千六百十六圓合計十一萬七千五百七十一圓にして之を前年同期に比すれば頗る激增なり

◎倉荷證券取扱方

滿鐵京城管理局倉庫業者は記名式なる倉荷證券の引渡しに付裏書を要せず讓渡人の請求に應ずべしと [illegible]

◎繩叺組合設立

京畿道にては繩叺の販賣が其の設立に盡力中なりしが管内坡州郡其他に於ける繩叺製造販賣組合の中擬成郡は昨年十月十日を以て其設立を了し其他の郡に於ても近く設立の運に至るべく各組合は道の製品檢査を行ひ一等品二等品三等品の區別を立て各等級共一定の規格ある檢印を押捺すること、せり而して二等品は自由に移出するも三等品は全然移出を禁止し得るのみならず之を使用する時は組合の認可を要するものなりと

◎東拓鮮人五德會

東拓京城支店在勤鮮人相圖り今回五德會を組織し勤倹貯蓄、德業相勸、禮俗相交、過失相規、患難相恤の五綱領に則り各自品位の涵養に努むることとなりしが來る二十八日其の第一回總會を會社樓上に開き規約の審議あるべし

◎柿内理事通過期

東拓理事柿内常次郎氏は八日東京發北京に赴任の途に上るべき豫定なりしが何ほ右の出發を延期せるもの如し尙ほ氏の北京行きは多分朝鮮經由の途をとり京城に一二泊すべし

◎松崎朝鮮營業課長

南滿洲鐵道株式會社朝鮮營業課長松崎時勉氏は三日元山に向ひ六日歸京せしが更に最近仁川に往復し又湖南線地方並に西鮮方面の視察をなす由

人事消息

▲中村孝三郎氏（殖南營務部長）十日朝入京
▲前田憲太郎氏（ [illegible] ）同上
▲宮崎 [illegible] 氏（大阪鐵道局） [illegible] 同上
▲藤川勝次郎氏（憲兵中尉）▲大西政次郎氏（ [illegible] ）（同上）▲吉岡新市氏（同上）十日午前入京
▲深澤能氏（鐵道局事務官）内地旅行中の處十日歸任

新春詩韻

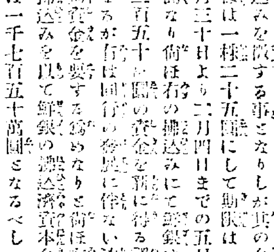
○戊午新年　前橋　黑潮
齊帝風物移、山河無處不熙熙、禁城東望綠波穩、日上扶桑第一枝。
評曰　娟靜穩和。

○同上　富田　小茶
扶桑曉日瑞精華、忠孝美風員足誇、賀宴欲開兒女列、繁榮捧謂兩黄家。
評曰　作意誦讀者亦興榮。

○同上　布川　水香
八度春風作漢陽、扶桑呆日拜恩光、今朝一醉屠蘇酒、好賦昇平獻壽章。
評曰　眞情可欽。

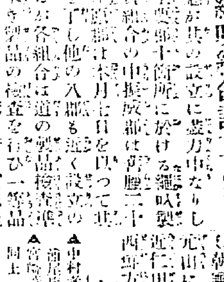
○同上　栗原　華陽
獻歳穩波初日紅、古松整飭耀晴空、朏盤老幹龍跳水、翁嫗齊杵鶴唳風。
評曰　後半對得雄秀。

○同上　横田　天鳳
波瀾卽曉紅翁、鬱長松碧空、寧入瑞色吟鶴睡恩中。
評曰　風調清蒼、立言得體。



野花梅盛一時開　東芳堂

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
ヂゲスチン
●食慾が進まない時に食慾を促す
●元氣が衰へた折に活力を與ふ
●貧血のものには血液を補給す
●精力の増進と體量の増加を促す
●現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる
製造發賣元　合資會社　圓城堂　東京本町
圓說明書送呈

御旅行用
靴と鞄
定價お勉強

東京市芝區
内田靴鞄問屋

東洋一の魁
丙用式ストロング製は堅牢優美價尚一層低廉

日收一圓
特約店募集
二葉商店

職業
自宅にて出來る有利なる職業
婦人子供にても出來ます

補缺會員募集
各組若干名
一月十四日より授業開始
實用英語夜學會
旭町二丁目

京城學校組合告示第二號
京城學校組合會議員ニ [illegible]
大正七年一月 [illegible]
京城學校組合管理者　京城府尹　金谷充

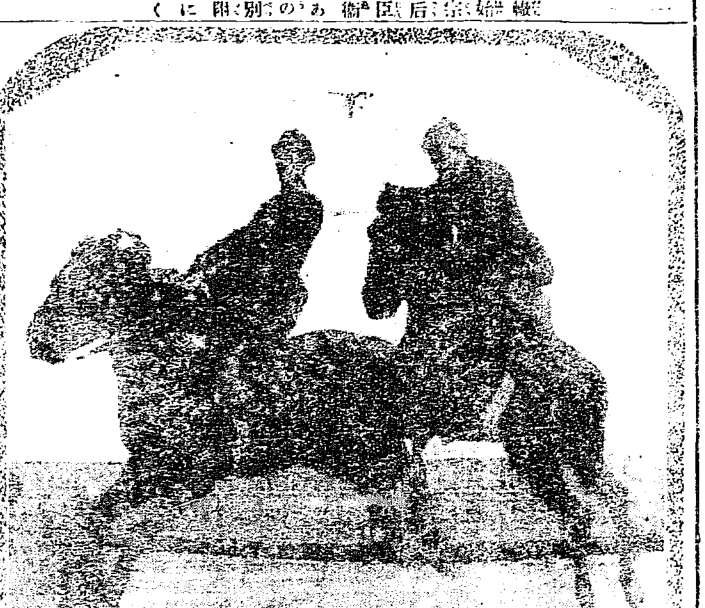
謹告
内ロース　百目に付　四十二錢
ロース　同　三十六錢
上肉　同　二十八錢
中肉　同　二十四錢
並肉　同　二十錢
コマギリ肉　同　十四錢
豚肉　同　三十錢
カシワ　同　四十五錢
上　同　五十錢
今回原價騰貴に付同業者協議の上當分の内右の通改正致候間此段謹告仕候也
大正七年壹月十日
京城精肉商一同

●王世子東京御出發
各宮御使その他の御見送り

十歳の御勤みの甲斐ありて芽出度少尉御任官ありたる李王世子殿下には李王李太王兩殿下を始め各王公族殿下に晴れの御對面の爲め十日午前八時半東京驛發列車にて

■御渡鮮の途 に就かせらる、是より先き殿下には陸軍歩兵少尉の御正裝に勳一等旭日桐花章副章御佩用午前七時五十分鳥居坂御用邸御出門金御附武官陪乘し高事務官、小山典醫、武田御用掛其他隨員及び御出迎の爲め上京し居たる閔李王職長官、篠田事務官等を從へ馬車にて

■東京驛頭に 御馬車の轍を止めさせらるれば各宮御使を始め波多野宮相一戸敎育總監井上宗秩寮總裁末松樞府顧問官大森皇后宮大夫徳川侍從次長池邊總理大臣秘書官小原調度頭渡邊式部官近衞歩兵第二聯隊將校其他の御出迎あり貴賓室に御少憩の後高橋驛長の御先導にて步廊に成らせられ特別急行列車後部に連結せる展望車附一等車に乘車あり諸員敬禮の裡に擧手の御挨拶あり御機嫌麗はしく御發車あらせられたり（東京特電）



騎乘の寒稽古
（村田野、野口の諸氏と障碍物を飛越さんとする乘馬）

●百廿餘名の命危し
滋賀縣土倉鑛山は積雪一丈八尺

滋賀縣伊香郡杉野村土倉鑛山附近は積雪一丈八尺に及び土倉鑛山は交通全く杜絶し居住者百二十餘名の生命危し附近には倒潰家屋壓死者あり一般に米は缺乏しつゝあり又福井地方も大雪にて郡部は丈餘に及び屋根にて商賣し居れり（大阪特電）

●斷水中は斯うして防火
腕力で打ち消すより外はない

京城で水道斷水中の消防に就ては消防隊でも可なり苦心を重ねてゐる、元來京城の消防は水道水を利用して消防する組織で其器具機械の如きも此意味に於て備へられて居る尤も以前は丁度明治四十年頃に逆戻した樣な形で腕用喞筒時代と見るべく其時代には京城にも内鮮人部落を通じて

□井戸の數が 非常に多かつた、從つて消防も其井戸に據つて消防することが出來頗る便利であつた、其後水道水の普及乃至衛生上の關係から是等の不良水の井戸の大多數は廢せられ現在にては井水の水質比較的良好なるもの僅かに殘存して居る有樣で水道斷水時の火災に對しては

□腕用喞筒で あるから其腕用喞筒に使用すべき井戸甚だ僅少で加ふるに以前井戸多數の時代に設備したる腕用ホースの數も亦勘く現今の如く井戸の數僅少なる關係上非常に多數のホースを使用せねばならぬ狀況で火災の場所に依りては到底水を用ひて消防する事は不可能である從て腕力を以て打消すべき

□特種消防隊 を編成して無理にも應急の警戒に當りつゝある次第であると某局者は語つた

□他の水利に 據る方法も亦講ぜられて居るが防火用として貯水池、河川等の水利なく此場合には應急的處置を採りて居るもの、水道に信頼するより外ないのである

◆水の出ない時は 水道係へ通知して知らせる

寒氣が激しくなると給水栓の故障が多くなるが水道事務所に修理方を請求する場合は先づ專用か官私設共用か將計量であるかを知らせ然して後に給水栓の番號を呼べば住所姓名を知らせる必要もなく水道事務所に於ても非常に便宜であると因に水道係りの電話は千九百四十九番と二千七百九十番である、然るに此頃の樣に水道に夏冬通じて斷水を來ては如何とも詮方がなく、夫れで消防隊では斷水中は毎日非番消防員の半數を召集して

□特別警戒に 服せしめて居る、是等消防員の勞苦は又一層同情すべきである水道斷水時の消

●七時半から馬場に出て
▽乘馬倶樂部寒稽古の第一日

京城乘馬倶樂部の寒稽古、十日から二月の八日まで三十日間の元氣鍛べ——それがいよ〳〵十日から始まつた

◆何分每朝 零下二十度に近い寒さを三十日の間向ふに廻して奮鬪しようといふのだから〳〵と春のやうに暖かい午下りの日を浴びて手綱緩やかに馬場を乘り廻すのとは違つて餘程の覺悟が要るわけで道が

◆元氣揃ひ の倶樂部中にも寒稽古の廻狀を見て尻込みをした者も可なりあつて寒稽古を承諾した者は飯塚齒科、井上、飯泉、岡部の各鮮銀、村田鐵務課長、橋、鎌田の大朝、瀬戸醫學士、谷井文學士、二宮醫師、佐瀬、白井、成の諸君だつたが

◆十日の朝 は飯塚君を除いては井上鮮銀を先頭に續々やつて來る、飯泉、岡部兩君なぞは電車が無いので長趣遂に觀つてやつと間に合つたといふ熱心さ、初遲刻は橋、鎌田の兩君で十錢宛を徴收された、一同が到着すると十餘頭の馬はそれ〳〵馬場に曳き出されて

◆白い息を 吐き驅け廻る、四十分ばかり續けて乘り廻し一先づ降りると何れも寒い〳〵と事務室に驅け込んで囀りつくやうに暖爐を圍む、それでも十日は零下十六度でいつもよりも暖かだといふ、今日の稽古が濟むと野助教の教師と牧

◆障碍物の 飛越しなどがあつて寒稽古の第一日は終つたが朝鮮側では成瀬君一人が加はつただけ鮮銀の韓相龍君の如きは早起困難につき缺席と逃げ、同行の韓銀贊君は病氣であつて姿を見せなかつた

●王世子御出迎

李王世子殿下御來鮮に就きて京城より御出迎へ申上ぐべき人々は既報の外貴族側代表者として釜山迄李完用伯、李允用男其他六名、大田まで八名、水原まで六名の貴族代表者御出迎ひ申上ぐべしと

●特種消防隊

●小說家 柳川春葉逝く

小說家柳川春葉氏（四三）は三日急性肺炎を發し自宅にて靜養中なりしが九日午後四時逝去せり氏は小栗風葉、泉鏡花、徳田秋聲三氏と共に故尾崎紅葉山人門下の四天王として其名を知られし人近年家庭小說に筆を染めて一頭地を拔き著作も頗る多かりしが永眠せるは惜むべし（東京特電）

●四溫は續かぬ
▼十日の模樣は一時的

近日の寒氣も漸やく十日になつて四溫らしい暖かさとなつた但し之はほんの一時の現象で決して續かぬ原因は支那大陸に蟠めた樣な最大高氣壓が幾分低下し氣壓の配置が緩漫になつた爲め

◆西海岸に 南の軟風が吹き初めたに因る結果で、其の變化の模樣では十一日あたりから又寒氣が増して來る、然し三寒四溫は一月の中旬でないと來ぬだらう、本年は概して昨年の寒さと同一經路にあるらしく本年よりも約十度の低下である、十日の溫度でも釜山は零下一度中江鎭で零下廿七度

◆京仁は 京城の零下十五度で仁川の零下九度、平年に比すると京城九度仁川五度の低下なり

◆小火 九日午後四時十六分頃京城公平洞六十八番地製本業朴永建方火鉢の火より天井に燃え上りたるも直ちに家人が消止む常備消防出動せしも即時引揚げたり

●春場所懸賞 締切延期
十三日正午迄

十日朝刊に發表した東京大相撲勝負豫想懸賞募集は十一日正午までとせしが地方讀者の便宜のため右の締切期日を改めて十三日正午の日附印ある分までを受付くることゝしたれば奮つて應募せられたし

●梵鐘鑄造
日韓併合記念

京城大和町曹溪寺住職大隆大定師は日韓併合記念鐘を鑄造して内鮮佛教の融和を益々密接にすべく目下江湖に廣く寄附を募つて居るが同師は永らく朝鮮にあつて

◆布教に從事 し滿徳高い同師曰く『日韓併合して七年を經たが我等佛教徒は何等世道人心に貢獻する處もなく宗教界の發展を計らなかつたのは遺憾であります京城は總督府の所在地であり且つ大都市として恥かしくないにも拘らず提敎の時を報ずる鐘は日夜市中に響いて居りますが唯一の法器さへ備ふるものがない、

◆梵鐘の音は 聊か佛教界のために悲しい譯であるから私は記念鐘を鑄造して時を定めて是を撞き久遠鑄せる國家鎭護の洪恩を舉げ衆生心内の進歩を覺ましたならば非常に結構な事と思つて今回の擧を企てたのであります大方の御贊成があつたならば光榮の至りであります』

◆鑛業の發展 は著しいものであるから之を記念すると云ふ趣旨から二三の鑛業家に對し熱心に勸誘の結果

●漂流中救はる

全北群山相生町大森五郎吉所有團平船に二名の船夫が總三十個、籾五十五俵外雜品價格合計一千圓のものを積み込み十二月二十日全北沃溝郡米面島沿岸を航行中風波の爲め難波して沈沒し船夫等は船板に取縋つて漂流中救助され手當の末辛く生命を拾せしが船體積荷等一千餘圓の損害を蒙れり

●貧民へ施米

高陽郡龍江面麻浦水鐵里根納倹は精米業を營み昨冬の二十一日同面の勞働者にして極貧の者三十一戸七十二名に對し價格七十圓に相當する籾殼白米等を分與せり

●滿洲荒し
興行師に化けて

昨年末より京城、壽座に來り居れる男あり滿洲奉天の官憲よりの手配に依り京城憲兵分隊にて同人を引致取調べの結果佐賀縣神崎郡脇田村居住旅館業大隈梅吉と云ふ者にて前科八犯ある旨を自白し其の滿洲退去命令を受け居る身にて昨年十一月奉天にて多數の人を欺き賭博をなし他の者は

●牛と共に慘死

京城電氣株式會社の六十三號電車が運轉手金五星同見習李靑龍の兩名が乘組み十二月二十八日午後四時十分頃往十里より光熙門に向け進行中高陽郡漢芝面新堂里十一番地先を進行中同面新堂里二十八番地農朴永吉が牛車を牽きて線路を横斷せんとして電車に觸れ電車は停車せんとせしも急劇の爲め及ばず遂に二十餘間を引き摺られて永吉と牛は死亡するに至り運轉手及び車掌は京城分隊にて取調べ永吉の屍體は檢視の上家人へ引渡さる

●消火栓の破裂
二十戸の浸水

京城昌徳宮通り布設中の第二十二號消火栓は寒氣の爲め十日未明破裂して盛んに噴水して一時は附近道路も屋並も一面の水と化し爲めに敦義洞にては二十戸浸水す急報に依り消防隊及び水道係にては協力して應急手當を加へ十日午後一時頃辛く復舊せり

●灯とも頃

各廳の下何郵便局の電話交換室では交換手が指が百本あつても足らぬといふ忙しい晩中の自動電話から矢鱈に電話を掛ける男がある▲何番…といふ交換手の問に對し『只今料金は入ります』よ貴方の名前は何と言ふ年は御何歳』など、怪からぬことを言つて頻りに交換手をからかふ▲夫れが一度や二度でなく出放題の電話番號を並べては交換手を困らせる、冗談を言ふ、併かも自轉車で乘り廻して方々の自動電話からこんな惡戲をする▲局では此奴迂論な曲者だと其筋に賴むと官憲では勿論僞名だらうが龍山居住の鬪件の男を引つ捕へて嚴重取調べる出來と言ひ蜘蛛のやうになつて重ね謝罪したので其の場は運よく放されたがさりとは全く厄介な電話狂

大阪期米

仁川米豆取引所
十日の二月限

大阪小高き移りにて中十八錢先六錢より九錢と跳ね八錢と手堅き裡に伸悩みの成行に打止めたり後場

●停滯貨車一千

番地橋本あや子（二四）は一月七日猩紅熱と診斷

ペスト蔓延の爲め北京安平城間の鐵道は九日より全部運轉を中止せり（北京特電）

外家族三名、辻ちよ、同なつ、同梢、石津繼吉同幸、藤本治作、大島巳之助、鈴木哲郎、正木龜二、高橋恩助、長元伊三郎、中水上雅作三宅吉郎、緒方勘一、吉田定平、佐々川吾吉

天氣 晴れ但小雪

商況

東京期米特電 [illegible]

兵庫期米 [illegible]

深川正米特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米同電 [illegible]

雜報

◆東京二十四圓〇一錢、兵庫二十三圓五十四錢

▲不勞の成行

◆麥粉手堅し

◆砂糖ボンヤリ 閑散 新春市況 錢分下で潛む

在荷極めて少く鯉の如き市中 甚だ良好 四圓三十錢處 手堅く維持

京城正米

南大門の廻穀

仁川正米

釜山穀物（九日）

正米二十錢安人氣

◆綿絲布反撥 糸先物三百七十圓五錢、綿布三錢十一圓四十五

◆纖穀の近狀 步調は却々健實 當分脆き崩方

◆輸送上の打擊を蒙る 發送叶はず 賃勢に伴ひ得ぬ氣配時々

大に刮目 期近戰は 當限は旅汁拔 當限の手當 米大部分は準備

種々臆說を爲す 買本尊に就き

市場雜觀

▲鄭紡株

▲紡績株

仁川期米

▲十日前場（不勢）

北濱だより

仁川米豆取引所 十日の三月限 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 豬飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 仁川海岸町

吳服 箕浦商店

仁川海岸町 一、仁、川 當店

白米標準値 二十二圓七十錢

小賣白米 二等白米 二十三錢 三等白米 二十二錢五厘

帝國勢力圏内の最前線長春城(下)

日露戰爭が生んだ新しい都會

失望しながら朝鮮でも母國でも一萬以上の人口を有して居ると知つたならきまさか

▲虎や豺狼の 跳る樣な處でない事だけ了解せらるゝであらう。是れからは少々自慢をさせて貰はねばならぬ。それも多くを語る必要はないのである。我が長春驛の一箇年の收入は朝鮮の全鐵道の收入よりも多いと云ふ事だけを深く留意をして置いて貰ひたい。それも其の筈だ滿鐵會社の收入の約三分の一弱は實に長春といふ諸者の餘り多くをしらない此處滿洲の北の端から納入するのだと聞いたら少々意外の感に打たれはせられまいか、而し實際だから仕方がない。尚此の北の端の一驛に於て一箇年の輸出入貿易高が

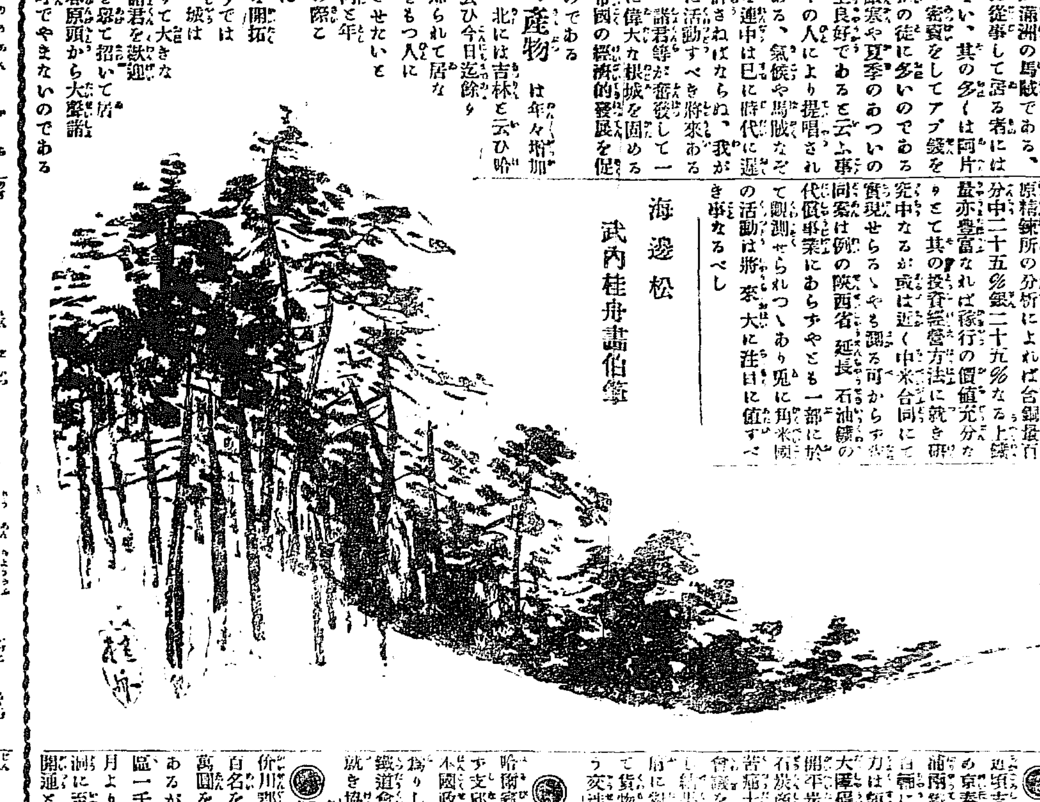
▲二億圓以上 に達すると云ふのでも之また小さな市場ではないのが判明するであらう、市街は年々膨脹して行く人口は增す一方經濟方面も異數の發展を來し現下の日露貿易唯一の中繼市場として將又滿洲特產物の大集散地としての長春を見た視察者は意外の大市場に一驚して歸るのが多いのである。又一面貨幣市場としても露貨がある我が金票がある、正金の銀票がある、吉林特有の官帖から大洋票に小洋錢といふ樣な隨分容易ならぬ取引を行ふに缺ぐべからざる市場である、かくて若し全滿洲に於て奉天が政治的中心地であるならば我が長春はをこがましいが

▲經濟的中心 地たるべき素地を備へて居る。敢て土地贔負而已で云ふのではないが將來滿蒙に何事か企んとせば必ず奉天以北の地に於て其の多くを成すべきであるのは少しく事情に通じた者の首肯する處である、露西亞の東洋經營は總て最前線に大なる市街を建造して漸次他に及したのだ、露西亞が今日西伯利亞なり東支鐵道沿線に於て成功して居るのは皆な其の方針が宜敷を得たからである、帝國の滿鐵附屬地經濟もやがては必ず其の方策に出ずるであらう事は疑ふの餘地がないのである。北に進み東に伸ぶる軌道を控へる長春の前途や實に自然的地の利を占めて居るのである、尚又何れの時にか吉林會寧間の

▲鐵道が布設 せられて北朝鮮と北部滿洲とが結ばれて日本海が活用せらるゝ事となつたら長春は驚くべき進展を來すであらう

何世人が恐るゝ馬賊と云ふ者も畢竟強盜と何等異らぬのである、内地の強盜が滿洲の馬賊である。それも正業に從事して居る者には殆ど被害がない、其の多くは阿片やモルヒネの密賣をしてアブ錢を儲て居る不正の徒に多いのである、尚長春の嚴寒や夏季のあついのは寧ろ健康上良好であると云ふ事が今日迄多くの人により提唱されてゐる事である、氣候や馬賊なぞを恐れる樣な連中は已に時代に遲れたものと評さねばならぬ、我が長春は實に活動すべき將來ある土地である、諸君等が奮發して一歩でも先きに偉大な根城を固める事は亦以て帝國の經濟的發展を促進せしむるのである

▲滿洲の產物 は年々增加する一方だ、北には吉林と云ひ哈爾賓以北と云ひ今日迄餘り多くの人に知られて居ない寶庫が鍵をもつ人によつて開扉させたいと待て居る、何と年が改つたこの際これから大いに奮發して新な開拓に着手しやうではないか長春城は先住者によりて大きな道を開いて諸君を歡迎し將に双手を擧て招いて居る余輩は長春原頭から大聲諸君の來投を呼でやまないのである



海邊松　武内桂舟畫伯筆

撫順硫安の價値

甘蔗業者の大問題　一噸四百四十五圓

政府の物價調節策は肥料の海外輸出を制限し更に關東州及び滿鐵附屬地内生產品にも及ばんとし既に關東都督府に對し撫順に於て生產しつゝある硫酸安母尼亞の南洋輸出制限方を交涉し來れりと肥料輸出禁止策の當否如何は暫く之を措くも南洋に於ける硫安の需給狀態及び滿洲產硫安の地位を述べんに

▲硫安の需要 は主として南洋即ち爪哇に於ける甘蔗栽培の爲めにして稀に煙草又は稻作にも使用され爪哇輸入品中の外の輸入を見實に年十萬噸内外主要地位を占む而して大正三年の輸入は和蘭二、七六三千噸、英吉利七、五八五千噸、獨逸三六四千噸、白耳義五八五千噸、印度七二千噸、濠洲一〇〇千噸合計一一、四六九千噸にて日本硫安の輸入は大正四年以降なりとす而して大正四年度は白耳義品五年度に入り獨逸品の輸入全く杜絶し和蘭品も亦著しく其の數を減じ英吉利印度濠洲產之に代り日本產の此の間に割込みつゝあるの狀況にて即ち

◆大正四年

	噸	千圓
和蘭	四、〇二七	七二二
英國	一〇、〇三五	一八、〇〇六
獨逸	一二	二〇
印度	二九九	五四
日本	八一	一五
濠洲	二、一九七	三九五
其他	二	—
計	一〇六、七五三	一九、二二五

◆大正五年

	噸	千圓
和蘭	一五六	二八
英國	八七、一六六	一五、三四五
獨逸	—	—
印度	八九九	一六二
日本	五三七	九六
濠洲	三、六七一	九四四
其他	三〇〇	五三
計	九二、七二九	一六、三一三

▲硫安供給 を何處に求むべきかは爪哇甘蔗業の大問題として講究さるゝに至りしは和蘭が戰爭と共に硫酸不足船腹缺乏との爲め輸入し英國も中立國及び聯合國にして其の國内消費を保證せるものに對して與へたる輸出許可を本年に至りて廢したる結果大恐慌を起し爪哇に於ける硫安自給を策するものあるも近き將來に於ての實現は不可能なるべく勢ひ之を本邦に向ひて求め來れり

▲硫酸代用品 として智利硝石あり豆粕あり特に豆粕は含窒素量に於て硫酸に及ばずと雖も滿洲特產物として莫大の供給力を有するに拘らず爪哇に於ける豆粕の需要大ならざるは何ぞやこれ主として其の土地制度によるものゝ如し爪哇の土地は全部官有にして土人のみ永代借地權を有す故に外國人が爪哇に於て甘蔗栽培を爲さんとするには悉く土人より小作せざる可からず而して爪哇の農業は土人の食料たる稻作を主として其餘裕ありと認めらるゝ場合に於てのみ甘蔗の耕作を許し且地力保護の爲三年輪作を強制しつゝあり故に

▲爪哇の製糖業者 は四回或は七回甘蔗を收穫する豫定の下に小作を爲すものなれば他の諸國に於けるが如き大規模の製糖業は到底爪哇に於て之を望む可からざるなり事情既に如斯なれば甘蔗栽培者は其の耕作年度に當りては速効肥料を使用して土地の養分を十二分に吸收せしめ出來得る收穫を得て之を土人に返還する方法を採り居れりこれ爪哇に於て硫安の需要が極て大なる理由なりとす

▲本邦の硫安 貿易は大戰前にありては勿論のこと昨五年の下半期までは全く輸入貿易なりきに到れる本年に入り爪哇輸出の端緒を開くに到れる際輸出禁止となり斯業の發展に一大打擊を與へ南滿洲產硫安にまで禁輸を斷行せんとするに到れり昨年九月一噸四百四十五圓の相場を現はし尚騰貴の情勢を示せるは爪哇甘蔗耕作者の買付大なりしも一原因に相違なしと雖も我が硫安事業の幼稚なる主に輸入に仰ぎたりしものゝ輸入杜絶によるもの其の最大原因たらずんばあらずしかも我が國の農業は爪哇と事情を異にし豆粕其他の代用品豐富にしてしかも代用品の利用上爪哇よりも一層有利の事情あるに見るも寧ろ獎勵をこそ望ましき次第なるべしと某氏は語れり

◎滿洲鑛業と米人

米支合同實現せん

米國の支那に於ける活躍は益々其の範圍を擴大し最近北京在任の米商某氏は熊希齡氏と協議し奉天省海龍縣朝陽鎮の鐵鑛を採掘し精錬所を設け尚附近黃旗案其他の銅鑛をも開採せんとして踏査を爲したる事昨冬既報したるが該銅鑛は久原精錬所の分析によれば含銅最百分中二十五%銀二十九%なる上鑛量亦豐富なれば豫行の價値充分なりとて其の投資經營方法に就き研究中なるが或は近く中米合同にて實現せらるゝやも測る可からず右同案は例の陝西省延長石油鑛の代價事業にあらずやとも一部に於て觀測せられつゝあり兎に角米國の活動は將來大に注目に値すべき事なるべし

◎商租公證事務

土地承租の公證機關

奉天省公署に於ては日支新約に據る滿蒙土地承租各案が支那官憲の監督疎漏なる爲め幾多の不正案を頻出し其結果は懸案となりて日支關係の不圓滿を來たすを以て之れを匡正する爲め商租上の公證機關を設け該案出づる時は其公證を得たる事を公同證明の上地方官憲の監督を受けしむ斯くする時は出租承租の兩者何れにも於て詐僞を行ふの餘地なく兩者共に巨大の利便を受く可きを以て最近日支商租公證事務新法なる者を訂定して各府縣に其の設立を命令したり

◎京奉貨車問題

頃日支那政府は在下軍隊輸送の爲め京奉線の貨車を徵發して京漢津浦兩鐵道に振り向くること已に八百輛に及びたる爲め京奉線の輸送力は頗る影響を受け天津の貿易は大障碍を蒙るに至りしのみならず開平炭の輸送も不可能となり天津石炭商は石炭の缺乏に悩み市民の苦痛大なるより天津商事團は特に會議を開きて此問題に就き審議せし結果北京外交團に陳情し支那政府に對して迅速に貨車を釋放し以て貨物の輸送に便ならしむべきや交涉せん事を要求したりと

◎又復大洋使用案

哈爾賓商人等は露貨の低落に堪へず支那の大洋元改用を提議したるも本國政府の爲めに否認されけれ止とも爲りし處最近又復た此議起り東清鐵道會社は各銀行と該貨行方法に就き協議中なり

◎价川鐵山擴張

价川郡三井鐵山にては目下鑛夫三百名を使役し年額三萬噸價格十四萬圓を本溪湖製鐵所に輸送しつゝあるが現在採鑛し居れるは所有鑛區一千萬坪の一部なれば昨冬十二月より起工せる軍隅里終點より泉洞に至る第二期線五哩の本春五月開通と共に產鑛額を倍額に達し六

◎ペスト蔓延と鐵道運轉中止

降雪の爲鐵道院各線に於ける驛停[illegible]

◎猩紅熱

京城[illegible]町四十五

◎ペスト追來す

後套來綏遠地方に發生したるペストは最近情報に據れば漸次を去る五日行程の地方に發生し米國宣教師一名死亡せし由にて支那内務部は大警戒せり

◎奉天化工會社發展

奉天化學工業會社は愈々本春解氷を待ちて工場大擴張を行ふ筈にて同社村上技師は諸機械購入の爲め目下東京に赴きたり而して同社は目下晝夜兼行にて阿膠の製造を行ひつゝあるが目下の設備にては一日製產高僅に二百斤を出でず之れが需要は奉天東亞煙草會社及び其他二三の要求を滿たすに過ぎず同社事業は愈々繁忙期に向へりと

◎果菜市場總會

平壤果菜商市場は來る十二日午後一時より商業會議所樓上に於て定時株主總會を開き業務經過の報告を爲すと同時に創業以來の成績佳ならざるに鑑み更に營業組織の改善並に其發展方策に付き附議する處あるべし

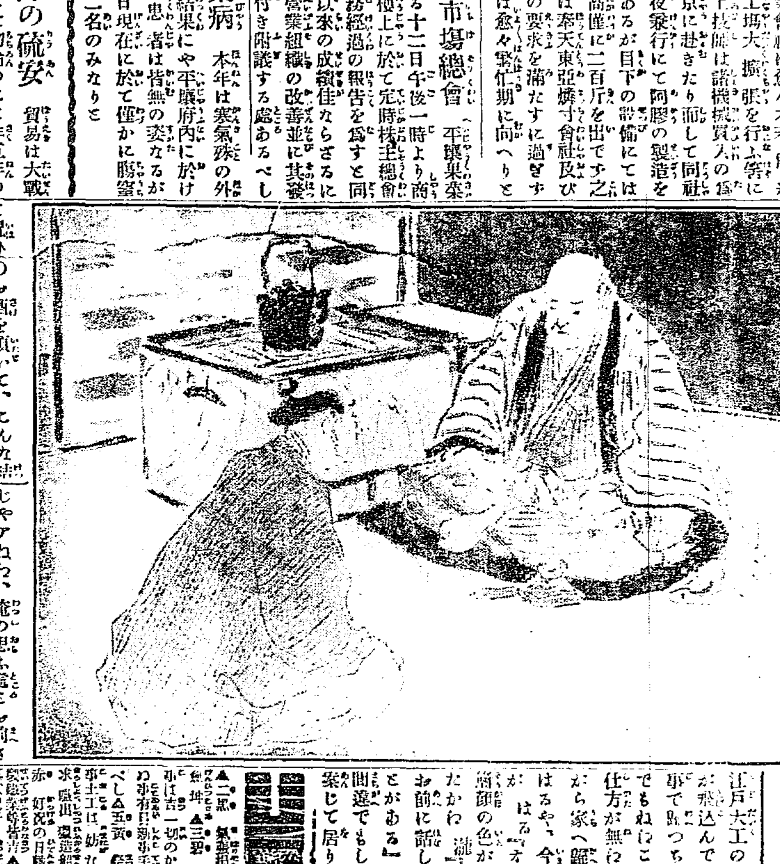
◎傳染病

本年は寒氣殊の外猛烈なる結果にや平壤府内に於ける傳染病患者は皆無の姿なるが只一月八日現在に於て僅かに膓窒扶斯患者二名のみなりと

左甚五郎

第百二十四席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記



栗原遠江の宅に於ても大勢の弟子が集つての酒宴、遠江は皆ぎ返つて溜息をしながら、焦氣酒でございまして、グビリ/\大きな物であほつて居ります處へ瀧五郎が這つて來た　瀧『棟梁、何うも永々お骨折でございましたまア/\出來上つて今日はお目出度うございます』　栗『何に　瀧『今日はお芽出度うございます』　栗『何が芽出度ね、何が芽出度よ』　瀧『何が芽出度ねたつて、皆出來になつて皆なが悟うして祝ひのお酒を頂いて、こんな結構なことは無いぢやアございませんか、それでまアお芽出度うございますと申上げたので　栗『何に、馬鹿なことを云へ箆棒めね、全體汝は人の惡ひを好む、初端に汝が何と云やアがつた、今度は骨が折れませう、宮本町の喜三郎、又佐野の仁兵衛、大阪の吉兵衛なぞといふ人が甚五郎の爲めに煽られてしまつた、却々影物にかゝつては巧い腕だ、何うの惡うのと、忌に人に不吉を付けやアがつた、そんなことを汝の耳に入らねことはなかるが、汝が不吉の基だ、世間の評判になる、甚五郎といふ者は大した名人だとか野郎のした當人が何うだとか悟うだとか、聞く度に癪が起つて堪らねね、まんまと甚五郎のために不吉を付けられてしまつた、といふのは總體汝がノッケから忌に人の氣を挫けさせやアがる、汝のやうな奴は弟子じやアねね弟子師匠の縁は只た今切つて遣るから汝はそれ程甚五郎が大した者だと思ふなら、是から行つて甚五郎の弟子になれ、汝のやうな奴は面を見るのも癪に障る、トフトと出て行け』　瀧『何うも親方さんでもねねことを云つたものだ、お前さんの爲惡かれと俺が彼是申し上げた譯じやアねね、俺の思ふ處とお前さんの思ひなさる處と物が行き違つて居る、結局お前さんを大切に思へばこそ彼是氣を揉んで云つたことがお前さんの氣に障つたら何うかまア勘辨しておくんなせねね今更甚五郎の弟子になつて何うするじやアねね、きア/\親方氣に障つたら御勘辨を願ひます』　栗『何に俺の爲を思つて汝が氣を揉で居る、棒め、此の栗原遠江を大切と思ふなら是から柏屋へ行つて甚五郎の素首を叩ッ斬て持つて來イ、然し汝のやうな引腰の無ね奴にはそんなことは出來めね、汝に出來なけりやア俺が自身是から行つて甚五郎の首を叩ッ斬ちまう、それが出來なけりやア汝は弟子師匠の縁は只た今切つてしまふから然う思へ[illegible]上て居るやうな工合でございます　瀧『宜うございます、お前さんが然う被仰るなら甚五郎の首を叩ッ斬て持つて來ます』　栗『持つて來る……それでこそ栗原遠江の弟子の瀧五郎だ、早く行つて來イ』　瀧『行つて來ます、一杯飲んで待つて居ておくんなせね……コー汝達はどんなことがあつても棟梁を外へ出しちやアならねねぞ、宜いか俺が歸つて來るまで決して表へ出しちやアならねねから堅く然う云つて置から』と云ひ捨て表へ飛出した瀧五郎、何うも仕方がねね、あの樣子じやア止めても止まらねね、江戸大工の集つて居る處へ、親方が飛込んで行つた節にやア迚も無事で歸つちやア來られねね、とんでもねねことになつたが、何うも仕方が無ねと道すがら思案をしながら家へ歸つて參りました　瀧『おはるや、今歸つた』女房のおはるが『オヤ瀧さんお歸り……大變な顏の色が惡いが何うかしなすつたかね』　瀧『鳥渡來てくれ、改めてお前に話しをしにやアならねねことがある』と云はれて女房は夫が間違でもして來たんではないかと案じて居ります。

石炭　各種　西崎商會　京城太平通二丁目　電話七二七番

一月十二日　九星　舊十一月廿九日　己未　本命二黒　坤　危　先負

演藝案内

壽座　京城壽町　電話五七八番　一月十一日(替り藝題)　大阪陣離波戰記　神靈矢口渡　切前[illegible]

壽館　京城本町　電話一〇五〇番　[illegible]

大正館　電話八三二番　[illegible]

黄金館　電話二六三七番　[illegible]

浪花館　明治町一丁目　電話二六〇番　[illegible]

有樂館　[illegible]

稻荷座　本町五丁目　男女合同市川圓之助一座　浪花節身振芝居　[illegible]

目まひ　立くらみ　腹いた　急病、流行病の特効藥　萬病感應丸　大阪　本舖　正野法橋玄三　販賣店は全國各有名藥店

肇道第九年の新春を迎ふ

太靈道主元 田中守平

旭日曈々として新山川を照らし、瑞雲靄々として新乾坤を被ひ、王化蕩々、人心熙々、萬象總て是れ靑陽の光に滿ち、茲に肇道第九年の新春を迎ふ。

顧みれば明治三十六年、我れ十九歳の晩秋、偶々國事を以て郷閭に幽閉せられ、森林に草庵を結びて朝に東天に出づる日の光を浴び、夕に西方に現はるゝ月の影を眺めて、靜寂幽邃、人の來り問ふものなく、自ら訪ぬる家もあらず、唯だ友とすべきは滑々たる澤の流れと、空を掠むる飛禽の姿のみ、人々よりは狂と呼ばれ痴と罵られ、纔纔さへ身に纏ひ難く食とすべき麥粟もなく、唯だ端然として方六尺に過ぎざる草の庵に正座して只管宇宙の眞相、人生の意義に就き瞑想を重ぬるを事とせしより既に早や十有六年を經過しぬ。

十有六轉回の歳時必ずしも長しと言ふべからざるも、而も此間に於ける當路の强壓と社會の酷遇とは具さに艱酸辛苦を嘗むるに於て遺憾あらしめず、洵に成道好個の試練なりき。此試練の刺戟は靈に渇せる我をして斷腸碎身の徑路を經つゝ靈的大自覺を喚起せしめ、明治四十三年秋九月を以て茲に太靈道を完成肇開せしめたり、則ち肇道の始年より數へて當さに第九年に際す。而して今や門に太靈道の籍に入りて靈化に浴せるの人士全東亞に普く、更らに歐米に迨ばんとするの狀勢に在り、是れ偏に過去の試練其成果を生じて爰に臻れるを思ふの時、轉た無量の感慨に禁ふべからず。

我、靈命を奉じて現世に生れ、今膺さに世界に向つて其重大なる天務を遂行すべき發途に立てり、而して此天務遂行の道程に於て、過去に在りたる試練は現在に聯り未來に繫る、實に我は試練と終始せざるべからざるを自覺す。寧ろ我は世界の總てを敵として自ら靈の試練をして的確ならしめんことを庶幾す。此宣傳の爲めには水火鼎鑊も固より辭する處にあらず、如何なる威權勢力も以て我此志を壓するに足らざる也。太靈道教憲に曰く、一旦事に臨みては毀譽を顧みず、身命を惜まず、適進以て至眞を樹て至全を成ずるを念とすべし、と。我今確然たる意志に依り牢固たる決心と不拔の勇氣とを以て現代に臨む、固より豈敢て毀譽を顧み身命を惜まんや、宗教者も、科學者も、將た哲學者も、道德者も奮ひ起ちて以て我と戰ひ斯の道と鬪へ！

●太靈道教憲

太靈を信じ靈勅を奉じ、皇上を尊み國家を重んじ、親祖を敬ひ一家を理し、衆を愛し分を明かにし、生類を慈み萬物を育し、絕對に進して差別を照觀し、妄りに信ぜず濫りに疑はず、至公至正常に眞極を體得し、總てを超越して大度能く己れを持し、言說を愼み作法に則ひ、禮を厚くし儀を整へ、温情以て人に接し寬大以て他を遇し、節序を守り、時間を貴み、倹に居り衆を勵み、一事一物苟もせず、克く努へ克く斷じ、心を養ひ身を修め、精を蓄へ氣を磨き、靈性を顯輝し能を啓發し、不撓不屈、自彊自尊、七妄を去り三慾を滅し、全我に歸入して神格を體現し、機を察し變に處し、進止法に適ひ行動則に逆はず、一旦事に臨みては毀譽を顧みず身命を惜まず、適進以て至眞を樹て至全を成ずるを念とすべし

主義

一、太靈道は太靈を信奉し至眞・融會・創化・進展を以て主義となす。

綱領

一、太靈道は宗教・科學・哲學・道德を包容超越す。
一、太靈道は宇宙の眞相を究盡し、人生の本義を闡明す。

目的

一、太靈道は萬有生命の根源を究明し之を體現す。
一、太靈道は世界人類の思想を統一することを以て目的とす。
一、太靈道は世界人類に精神的安立を與ふることを以て目的とす。
一、太靈道は世界人類に肉體的健康を與ふることを以て目的とす。
一、太靈道は世界人類の社會的生活・國家的生活に根柢を與へ歸趨を得せしむることを以て目的とす。
一、太靈道は世界人類の靈能を啓發し、人生を改造することを以て目的とす

懸賞「太靈道の歌」募集！

太靈道！ 太靈道！！ 人は靈に活ざるべからず、萬衆をして靈に復活せしむる靈界の新權威太靈道は今や世界を舉げて渇仰讃嘆尊信謳歌の中心たらんとす、此時に方り萬衆が日夕謳誦すべき「太靈道の歌」を募る 會員諸興須らく想を練り詞を逑へ以て藻腕の高調を寄せよ

＝應募要項＝

太靈道の思想・靈理學の學理・靈子術の作用を基礎骨子とし、此思想・學理・作用の必然的發現たる神聖・全眞・崇高・壯嚴・雄大・靈德・靈能・靈妙・超越・超我・全我・融會・和合・進展・人生の光輝等其他太靈道の內容を言ひ表はすべき總てを包含せしめ、詠歌の體・章・節・項・句・調等は作者の隨意に任す。

規定

一、懸賞金は入選發表と同時に之を贈呈す。
一、歌詞は之を[illegible]中より撰むことを要す。
一、原稿は採否に拘らず總て本院に永久保存し、返却せざるものとす。
一、入選の歌は[illegible]して出版す。

締切＝大正七年二月廿五日限
發表＝大正七年五月一日（詳細の規定は雜誌「太靈道」新年號を見よ！）

懸賞金壹千圓也

入撰一等 金五百圓 壹人
入撰二等 金壹百圓 壹人
入撰三等 金五拾圓 貳人
入撰四等 金拾圓 拾人
入撰五等 金五圓 四拾人
撰外佳作、秀逸へは夫々紀念品を贈呈す

●太靈道全國宣傳隊組織！

太靈道の堅實にして急激なる發展は正さしく時人の驚異に値す、而して本院に於ては今回宣傳隊を組織して全國各地方に派遣し普及に任ぜしむ、方今思想界混亂の時機に際し此壯舉を企つる、蓋し時代を啓導し萬衆を救拯する上に於て最も有効有力の方法たらずんばあらず、靈を逐へ人を導かんと欲するの人士は來りて此宣傳隊に加はり、絕大なる天務遂行の任に從へ！

全國宣傳隊規定

一、全國宣傳隊は一團の隊員を十二名とす。
二、隊員は總て太靈道特別講授會卒業者中より撰拔す。
三、第十七期（一月開催）第十八期（二月開催）特別講授會卒業者も加盟志願を爲すことを得。
四、婦人の卒業者も加盟を志願することを得。
五、東京進發は四月以後とす。
六、隊員の經費は被服を除く他の實費を本院に於て負擔す。
七、隊員には相當手當を支給することあるべし。但し其額を豫定せず。
八、宣傳隊は太靈道思想の講演を主とするも、樞要の地に於ては靈子顯動作用教授會を開催し、及び靈子療法の施術を行ふ。
九、靈子潛動作用を教授する特別講授會は主元院下の親しく教授するものに限るものなるが故に、東京本院以外に於ては之を開催せず。但し第七期迄の通信講授會員にして門籍證並に「太靈道及靈子術講授錄」を所持する時は、宣傳隊の靈子顯動作用教授會へ入會し無料教授を受くるの特典を與ふ。

●太靈道世界宣傳隊組織！

本院に於ては今回日本全國に亘る宣傳隊を組織すると同時に、更らに米國宣傳隊を組織派遣し、次で歐羅巴に及ぼさんとするの計畫を爲す。これ實に太靈道の世界的普及に於ける先鞭を爲すものにして、恐らくは眞に空前の壯舉と謂ふを憚らず。殊に今次の大戰に於て歐米人の思想、信仰に著大の劇變あるの時機に際し、此大思想太靈道を以て彼等白人を啓發指導するは實に快心の事たると共に、其責も亦た極めて重きを自覺せざるを得ず、而して今や本院は全世界に向つて此重責を遂行することに全力を用ゐんとす、若し夫れ邦人中に在りて此曠古の快心事に從はんと欲するの士は奮起して來り投ぜよ！

注意＝世界宣傳隊規定は別に之を定む。

●太靈道救護隊の組織！

年新にして春色都門に滿ち、賀客の酡顏欣々として來往激し、而も一轉して一度び窮巷陋屋に敝衣疏食して飢寒に叫ぶ細民の實狀を考ふる時は、誰人と雖も惻和同情せざるものあらざるべし、等しく是れ聖代に生を享け、春に逢ふて春を知ること能はざる彼等の境遇、何ぞそれ憫たる、殊に窮困の苦みに加ふるに疾患の惱みを以てする者に至りては一層憐憫の情に堪へず、之を以て本院に在りては今回救護隊を組織して靈子作用を以てする療法に依りて彼等細民を匡救濟護せんと欲す、而して治病と共に併せて寂寞空疎なる彼等の心狀に向つて躍々希望に燃ゆる光明を與へ精神上の安立を得せしむるとに努む、蓋し夫れ、たゞへ細民に一時の物資を與ふるも之を費消せば等しく空無に歸す、加之却つて賴他の念を生じ遂に益々其精神をして萎靡沈退せしむるの弊あり、此故に太靈道に於ては彼等に與ふるに肉體上の健康と、而して汲めども盡くることなき靈の泉源より迸れ出づる精神上の活力とを與へんとす、斯くして彼等を導いて心身共に强剛健全、忠良にして有爲の國民たらしむることは洵に現代の急務と謂はざるべからず。

今、本院が偏に細民救護の事に努めんと欲する所以のもの、是れ實に主元、素と赤貧の家に生れ平生憫ける恤隱の心を茲に實現して彼等を啓導し、以て天務遂行の一端を果さんと欲するの趣旨に出づるに外ならず、されば固より權勢の力を假らず、富豪の救を求めず、敢然として勇往邁進只管太靈の全威を發揮し努ちて救護的恤の實を舉げんことを期す。（救護隊規定は別に之を定む）

●太靈道特別講授會

太靈道特別講授會は主元院下親しく太靈道・靈理學に就ての要義を講じ、靈子潛動作用奧秘を傳授せらる。精神の安立を得んとする人及び靈的研究に志す人、靈界に活動せんと欲する人々は此講授會に入りて其至大の大効を覺さるべし。第十七期一月廿一日より十日間、第十八期二月十五日より十日間開催。「太靈道」新年號參照

●太靈道及靈子術講授錄

太靈道・靈理學・靈子術の講義及び教授を頒布し、通信に依つて太靈道・靈子顯動作用を講授す。而して東京本院開催並に地方全國宣傳隊開催の靈子顯動作用教授會へ隨意無料入會の特典を與ふ。第七期普通正會員一月十五日より二月廿八日迄募集。「太靈道」新年號參照

●太靈道靈子療法

直接施術＝毎日午前自九時至十二時、午後自一時至三時＝受付
遠隔施術＝隨意受付＝直接施術より遠隔施術に、遠隔施術より直接施術に隨意轉ずることを得
[illegible]毎週土曜日午後自一時至[illegible]教授會へ隨意無料入會することを得せしむ。「太靈道」新年號參照

●太靈道講話會

一月二十日（第三日曜）午後一時本院に於て開會。太靈道の[illegible]を宣傳せんとする爲め時々開催し誰人も無料參聽せしむ。新思想に[illegible]來會せらるべし。但し和服若くは洋服着用名刺御持參の事＝太靈道新年號參照

●靈子顯動作用教授會

毎月第一日曜日午後一時より四時迄本院に於て開會す。靈子顯動作用は國民健康法として普く行はしむる趣旨を以て、特に在來の規定を改め太靈會教授部・通正會員及び施術部終身會員・通常會員にも自由に本教授會へ入會し無料教授を受けしむ。「太靈道」新年號參照

太靈道

太靈道新年號 總紙數菊版一百頁 定價金廿五錢 郵税二錢

人間には未だ人間自身に能く知られて居らぬ靈妙な作用が存在する。これを太靈道では靈子作用と稱するもので、此作用が顯動と潛動の二種に分れて居る、全く意識關係を離れて靈的に人體に發動して來るものであつて其靈子の顯動の場合には精神統一の要もなく正坐しても直立しても、弛念や挾念がなくても夫等に少しも拘泥せずに唯だ一定の姿式に依り自得（姿式及び自得の方法は講授錄に明か也）する時は

□肉體忽ち靈感自動し來る

ものであつて老壯男女誰人にも實習することが出來る。其妙境に達するや肉體は輕快自在となり體が宙に飛び上り奇怪百出の不可思議現象と心氣の爽快とは到底筆紙に盡すことは出來ぬ、更らに潛動の場合には本でも机でも火鉢でも何でも眼前に在るものに手掌を以て此作用を傳へるとそれ等の無機物が忽ちに自動し出して來る、本の如きも

□十冊位積み重ねて置て

之れに手を添へて靈子の作用を傳へると全部が自動する樣になる、無機物有機物の區別はなく鑛物でも植物でも乃至動物にでも之れを傳へることが出來る、そして顯動潛動の靈子作用を行ふと不思議に健康になる、而も彼の靜坐や其他の健康法の如く毎日長時間を要するといふことは繁忙な今の時代には誰人にも爲し得る譯でないが、此の靈子作用は平素

□一日僅かに數分間の

勵行に依りて心身に受くる所の效果は血液正循環となり、細胞の活動を旺盛にし、體內に潛める病毒を去り、病勢を除き體組の平衡を保ち、腐肉發癬血色潤澤となり、頭腦を明晰にし理解力決斷力記憶力等を增進し活氣橫溢精力充實活動奮鬪の力を增大せしむることが出來る、此の作用は自分の健康に効あるばかりでなく家族近隣又は其外の

□他人の病癖を治することが

出來得る、今茲に此傳授を受けて他人に應用し、醫藥効なき多年の慢性痼疾をして極めて短期間に快癒せしめた實例は多々ある、而も催眠術や其他の諸精神療術の如き一時の氣休め的なものでなく、最も的確に効果を奏して居る、そして少しも危險弊害を伴ふとなき理想的療法であるとは體得者の一致に讃嘆する所である、而して靈子作用の體得は單に治病健康の爲めとばかりでなく此研究に依つて人格が高尙になる、それはなぜかといふに靈子といふ今迄會て知らざる不思議の作用を事實上に體得して應用して見ると、始めて

□宇宙の眞秘に接し

人間といふものが實に靈妙尊貴な生物であることが知り得られる、同時に尊貴靈妙なる自己生命の根本たる太靈を理信する樣になり、自然に靈想が涵養されて誰人も遂に高尙な人格を備へ來る樣になる、如斯にして心身强健、人格高尙、活動雄飛の偉大性を養成して

□人類を靈化し完人に

啓導するとが即ち太靈道の大目的として居る所であつて、又現代の要求である

□宣言
天門聲なく開らく
肇道第九年の新春を迎ふ …… 太靈道主元 田中守平
□太靈道
第十六期特別講授會實況 …… 主元 田中守平
太靈的自覺
□說苑
理論よりも實驗 …… 海軍少將 石田二郎
現代の缺陷を濟ふは太靈道に在り …… 陸軍主計總監 井出治
太靈及靈子の哲學的觀察 …… ドクトル・オヴ・フヰロソフヰー 中根環堂
靈子の發現と實證 …… 醫師 牧虎文
醫術より觀たる靈子療法 …… 陸軍一等軍醫 衣斐賢治
靈子作用に依る疾患の辨色的透視 …… 醫師 望月大祐
太靈道の科學的批判（二） …… 醫學士 中谷竹藏
□健康
精力を增進する法（第二回）
□宣傳
太靈道の世界的反響
□靈象研究
指一本を動かして數十人を一時に靈動飛躍せしむ
腹力潛動に依り數十人の團列一時に靈動飛躍を生ず
□報告
通信教授に依つて顯動作用潛動作用體得報告
□歐文
Compendium of Taireido …… By N. Kantur, Ph. D

此他泰西思潮・雜纂・詞苑等數十項＝悉く靈辭靈句の結晶・滿誌靈氣溢る！
（入門並に施術に關する詳細規定は雜誌「太靈道」に添付す）

宣傳の爲め廿萬部を增刷して 無代贈呈す！

太靈道普及の專門機關雜誌「太靈道」新年號は今回宣傳の爲め特に廿萬部を增刷して無代贈呈することに決せり、新春靈氣に觸れて活躍の新元氣を得んと欲するの士は速かに一枚の葉書を投ぜらるべし。但し一人一冊を限る。直接又は電話にては贈呈せず、必ず葉書を以て請求の事。本新聞愛讀者たることを附記せらるべし。

雜誌「太靈道」無代頒布申込所
東京市麴町區一番町四十二番地
太靈道本院
電話番町三〇四八・振替東京三三三〇番

汽車發着（京釜線 南行・北行、湖南線 南行・北行、京釜連絡、京義線、京仁線、京元線） [illegible]

京城日報
十一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

[illegible]して日本の上に出で居らず大正五年に於けるものにて其輸入額實に一億[illegible]る事となるべく從つて我國は支那[illegible]の統計に依る時は其輸入額七千五百三十四萬七千六百卅四圓[illegible]政府に對し總税務司の椅子を與よ[illegible]三十五萬三千二十九圓にして我國に達し我國の朝鮮貿易八百五十萬[illegible]べきを要求すべき當然の權利を掌[illegible]

綿糸益々高騰

[illegible]所の如き目下これが研究調査中なりと（大連）

[illegible]綿糸相場之に伴はず[illegible]大阪市場の不勢に伴はば再び不振の[illegible]に陥るべし（大阪）

襯衣有流失

[illegible]二月二十五日[illegible]加乃島附近を航行中俄かに風浪に襲はれて船體破壊したるより[illegible]

▲[illegible]京城竹添町一丁目八十二番地先きに四十五歳位乞食體の男一名死し居るを發見せり▲同[illegible]

歐洲戰費調査

總額二千億圓

▼戰費總額概算　我が大藏省理財局最近の調査に依れば大正三年七月今次の歐洲大戰亂開始以來同六年七月に至る三箇年間の各交戰國の直接戰費總額は二千十二億千九百三十萬圓の巨額に上れるが今之を各交戰國別に觀察するに左の如し（邦貨は單位千圓）

	◆換算額	◆同上邦貨換算額
英	四、六四二、〇〇〇千磅	四五、三一九、八四六
佛	七七、五八七、一〇四千法	三〇、〇二六、二〇九
露	三九、六一七、〇〇〇千留	四〇、八八四、八四七
伊	二二、五〇九、八〇〇千利	八、七一一、三九三
白、塞、羅	四、七五〇、〇〇〇千弗	九、五二八、五〇〇
獨	七九、三四二、三四二千馬	三七、八四六、三九七
墺匈	五三、六三三、〇〇〇千冠	二一、七七四、九九八
土、勃	二、〇〇〇、〇〇〇千磅	七、二二七、三一八
合計		二〇一、二一九、三〇八

▲備考（一）伊國の分は開戰當初より準備時代に遡りたる事件費を含む（二）白、塞、羅、露西亞四國の分は米國メカニック、エンド、メタルス、ナショナル銀行調査に據る墺匈（三）土勃兩國の分亦同上調査に據る墺匈國との合計より墺匈國分を差引きたるものとす

▼一日平均戰費　更に同上各國の一日平均の戰費支出額を究むるに開戰後三箇年間に於ける平均額と最近一箇月の支出額より割出せる一日平均額との間には多大の徑庭あり今便宜上之を邦貨に換算して兩者を比較對照するに左の如し（單位圓）

	◆三ヶ年間の一日平均支出額	◆最近の一日平均支出額
英	四一、二六八、二〇〇	六二、四八三、二〇〇
佛	二七、三九六、一〇〇	三九、〇五九、五〇〇
露	三七、九〇三、三〇〇	六〇、三二五、六〇〇
伊	七、九四八、二〇〇	九、六〇六、五〇〇
白、塞、羅	八、六二五、八〇〇	一〇、〇三〇、〇〇〇
獨	三四、五三四、八〇〇	四七、七〇〇、〇〇〇
墺匈	一九、八六七、六〇〇	二五、七五七、九〇〇
土、勃	六、五三七、五〇〇	九二三、八〇〇
合計	一八四、〇八一、五〇〇	二五五、八八六、五〇〇

▲備考　最近一日平均額中佛國の分は昨年九月、英露兩國の分は同八月其他の諸國分は同七月の一日平均額とす

▼財源調達内容　上述の如く巨額を算せる事件費は果して如何の財源に依り之を調達したるやを見るに國の異るに從つて其内容を異にすること勿論にして一瞥甚だ興味の津々たるものあり即ち左に英、佛、露、伊、獨、墺の六國に就て昨年七月末に終る三箇年間の財源調達額を列記するに左の如し

▲英國（單位磅）

政府一時借入金	[illegible]
内外大藏省證券	[illegible]
内外國庫債券	[illegible]
内外公債	[illegible]
増税	[illegible]
其他	[illegible]
合計	[illegible]

▲備考（一）内外國庫債券には戰費證券及戰時貯蓄債券を含む（二）内外公債には[illegible]を含む

▲佛國（單位法）

政府一時借入金	[illegible]
内外大藏省證券	[illegible]
内外國庫債券	[illegible]
内外公債	[illegible]
増税	[illegible]
合計	[illegible]

▲露國（單位留）

内外大藏省證券	[illegible]
内外國庫債券	[illegible]
内外公債	[illegible]
其他	[illegible]
合計	[illegible]

▲備考　内外公債には[illegible]を含む

▲伊國（單位利）

政府一時借入金	[illegible]
内外大藏省證券	[illegible]
内外國庫債券	[illegible]
内外公債	[illegible]
増税	[illegible]
其他	[illegible]
合計	[illegible]

▲備考　其他の中には外國銀行團借入金及米國政府貸付金を含む

▲獨國（單位馬）

軍事貸金	[illegible]
内外大藏省證券	[illegible]
内外國庫債券	[illegible]
其他	[illegible]
合計	[illegible]

▲備考　其他の内には政府紙幣及米國政府貸付金を含む

▲墺匈國（單位冠）

政府一時借入金	[illegible]
内外國庫債券内外公債	[illegible]
増税	[illegible]
合計	[illegible]

▲備考　合計額は判明せる分の合計とす（東京）

民間説話界に於ける馬（六）

田中雪人

さて以上色々と史乘の記録を出して説話らしい馬の話が求め得られたが、之れよりも野談巷説に却つて説話らしい馬の話が求め得られる。例へばこれは古今著聞集に見えてゐる話だが、阿波の國の智願上人の乳母が、死後に幾度か同じ馬に轉生して上人に仕へ、上人を乘せては輪山離路を越えて、生前の恩に報じたといふ話などはその一例で、鎌倉時代には斯うした佛家の輪廻説に出た轉生報恩の話が甚だ多い。同じく同書を見ると、或る家に盗人が入つて將に其内の品物を盗み出さうとした時、突然其家の軒下にゐた馬が人語を發して盗を差止めた上、自分は元來此家の主に恩を受けた身で、一度死んで斯く畜生とは生れ變つたけれど、舊恩報謝の爲めに斯うするのだといふ話なども、やはり此[illegible]ゐる樣で、前の話[illegible]説から生れた動物報恩説話である。

また三國傳記を見ると前世は僧侶であつた者が馬に轉生して此世の苦艱を受けながらも不動明王の加護に預る話が出てゐる。其外猶に馬にも人心があつて恩を知るといふ話、自分を飼つてくれた人が或人に殺されたので馬が其人に近づく機會を得た時其人を嚙殺すとか又は其人を自分が乘せた時背から振落して殺すといふ復讐譚などは世に多くあるがこれらも此時代に既に見えて居る。自分を愛撫してくれた主人に別れる時名殘を惜んで主人の袂を啣へて離さず悄然として涙を垂れたといふ話などは不自然の度が左程甚だしくないためにそれが傳説等に現れるばかりでなく、寫實的な小説や脚本にも殆ど現代まで度々使はれたモチーフなる事は人の能く知るところである。上記の如く人が馬に化生した話の外又馬に化せしめられる話も平安朝末には既に見えてゐるが斯うした記録は日本は勿論世界に隨分多いことゝ想像される。枝葉の點に於て互に一致したのを未だ見たことが無いが唯根本の筋は似寄つて居る。一例を擧げると出曜經には印度の話があり（南方熊楠氏考證）支那の例は幻異志の板橋三娘子譚に見られる（高木敏雄氏考證）が西洋の類例は目下の手許にあるクロッストン氏「通俗說話考」中にも多くの例を見出す。[illegible]して日本の例を示せば古くは今昔物語にさういふ話がある。三人の僧侶が四國の海邊を行脚した[illegible]あつた。三人の者は遂に道に迷つて人里離れたところの一つ家に宿ることになつた。ところがそこといふのが妖怪の住家だつたのだ。宿の主は面貌物凄い法師で、旅の僧を程よく歡待してから隣で今一人の法師を何處からか呼寄せたかと思ふと件の僧の一人を捕へて百度笞打つた。打たれると僧は忽ち馬に成つて了つた。同じ手段で今一人の僧も馬に化せられたのを見て殘りの僧は命から〲に逃げ了せたといふ筋なのである。

以上は概ね鎌倉頃までの古い記錄に就いて散見した例を述べたのである。これより以後とても勿論種々の馬に關する説話が見られぬではないが餘り話が長くなつたから記錄に關することは之れ位に止めて措かう。

さて上述の説話は今は概ね民間に傳承されてゐる古記に依つて漸く其存在を認められるのであるがそれとは別に現に實存する天然物若しくは建造物などゝ結付き生きた口碑傳説等となつて傳へられてゐるものが甚だ多い。次に五六の例を擧げて見よう。先づ馬に關する日本の傳説で最も神秘的な感を與へる天馬傳説に就いて述べよう

海邊の松　濱汲古

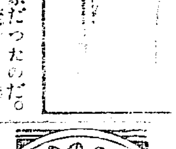
扶桑新詩

海邊松○[illegible]

[illegible]

扶境○[illegible]

大正戊午九日題賦八首一章　[illegible]



ぞうして

布施生譯

三十六

武烈氏は手にした名刺を一寸見て「國さん失禮致しました。丁度幸ひ客がございまして」と言ひ〳〵二人を熟と見て「時に御用向は？」、定めし何か政治上の事でしやうな」俯は呆れながら主人の姿を看て見た。此主人は態々窮り屈けてゐるのだらうかそれとも實際もう二人の顔を忘れて仕舞つたのだらうか」國は穩和しく主人の言葉を受取つて「いや政治上の事ぢやあございません。しかし矢張り同樣に重大な事でございまして、失禮ですがお人拂を願ひたいものですが」。武烈氏は腑に落ちない顔をしながらも起つて戸をぴつしやり閉めた、

[illegible]それから暗へ歸ることにした[illegible]

漢詩投稿歡迎

本社は今回東都詩壇の巨擘松城蒼堂氏に特に漢詩の批評を委託し以て更らに藝苑の紙上を飾り聊か半島詩壇の振興を計らんとす　振つて投稿あらん事を希望す但し忘機吟社も今日迄の通り紙上に掲載すべし

歳末歳始景品附賣出抽籤番號發表

舊臘歳末景品附賣出中は江湖各位の深厚なる御後援により豫期以上の好果を以て終了昨十日弊社京城總販賣店に於て警官新聞記者立會の上公明なる抽籤の結果左記の通當籤致候間此段及廣告候也

▲一等　蒔繪切手（貳拾圓）一枚ヅ、　計一四本
五九七

▲二等　銀製腕卷時計　一個ヅ、　計二八本
九五九　一〇二八

▲三等　事務用萬年筆　一本ヅ、　計二八本
一五七九　二六七九

▲四等　二鷹（五〇）一ボールヅ、　計七〇〇本
八七三二八七五四〇八六三
六〇九九四四六一六九一七四
三七九四五〇八六四七五一六
八七四三一七六四二九六四一
八三三二七四〇九〇七五四五
四四二七一七八八三三二一三
八六三二七六五二〇六四三
〇〇六〇九五六五〇五二二
二〇八六一四四九〇五五四
八六三二八六五二〇七六三
二六九七一七七九〇八四二
九六六八三一七一七八七三

▲五等　百圓大（七四五本）一包ヅ、　計一〇四三〇本

▲六等　郵便はがき（二二〇〇）一枚ヅ、　計三〇八〇〇本
（五等六等番號省略）

番號は各符號に共通の事、

◎引替期限　一月十一日より一月廿日迄（自午前十時至午後四時）但し日曜祭日を除く

◎引換場所　京城明治町　東亞煙草株式會社總販賣所
仁川　官煙販賣組合

期限後は引替謝絕仕候

京日案内

▲[illegible]

◎社員數名募集　旭町二丁目上　研究及論調社　226

◎日給女子事務員採用　身體強健高等女學校卒業程度　若草町一〇六　[illegible]　233

◎貸家　[illegible]

◎見習女工募集　[illegible]京城永樂町[illegible]

◎[illegible]

店員募集　二十歳以上三十歳迄[illegible]中村運送店　221

手代　但し四十歳以上二名　店員五名入用　京城青葉町二丁目百廿番地　大橋[illegible]　242

◎勸業債券買入　日本勸業銀行債券月報社代理店　京城西小門町　電二八三一番　本[illegible]光國　243

◎電話三口買入　呼鈴のよき番號　◎黄金町一丁目　電話一八四五番　秋葉　223

◎鑛物各種分析　太平町二丁目三六（電二八三）　遠藤醤油店向側入る　松永分析所　212

◎鑛物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社左横小路　坂元分析所　213

鑛物各種分析　明治町二丁目　支那領事館前郵便本局裏通　電話長二七七　田部分析所　219

◎ほねつぎ（うちみ　くじき）　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　261

恩給年金長期低利即金　公債債券現物買　▲擔保貸附　京城若草町百六　電話三〇壹壹番　西村商會　07

◎浦鹽危機迫る

▽居留民の避難準備 領事團と軍事的援助

浦鹽の形勢益々危險にして勞兵會は新たに少尉某を要塞司令官に任じ又兵卒より成る市民會は浦鹽の軍事警察を專有し且つ水兵團を聯合し軍需品の強制徵發を斷行せんとせり勞兵會に對抗するものは市民團將校團なるが更らに哥薩克兵續々來り市民團に應援せんとし七日大砲數門、多數の機關銃を輸送し來れり八日朝一層險惡の形勢となり居留民は夫々避難準備を爲す外日本人中の或團體は防禦上必要の手段を執りつゝあり斯くの如く危險の形勢なるを以て領事團は九日或方面より軍事的援助を受くる都合となれり(浦鹽特電)

◎在留邦人安危如何

▽我政府應急策決定

情報に依れば浦鹽に於ける過激派は少しく靜穩に傾きたる模樣あるも露本國に於ける過激派の態度に依り何時如何なる事變突發するやも計り難く我居留民四千の生命財產の程も測られざるを以て我國にては之が應急所置を爲すに決し尚必要を認めば居留民一部の引揚をも見るに至る可し(東京特電)

◎外交團對支警告

外交團は支那國民黨員中露獨社會黨員と氣脈を通じて停戰運動に參加し或は戰爭事務を妨害するものゝ嚴重取締方を支那政府に警告せり(北京特電)

◎王政府講和準備

政府は歐洲講和會議に對し其々準備を爲しつゝあるが國外の準備に就ては和蘭駐紮公使をして當らしむ可く既に訓電を發せり(北京特電)

◎馮總統排斥運動

北京方面に於て馮總統排斥運動漸々行はれつゝあり加之政府部內には益々主戰派督軍の勢力加はりつゝあるを以て早晚此等の勢力を包容せる大會開かるゝに至るべし(北京特電)

◎舊國會に不贊成

馮國璋氏が北方各督軍に對し舊國會問題に就きての意見を諮問したるに對し督軍一致して舊國會を恢復す可からずと回答せり(北京特電)

◎江蘇督軍憤起か

江蘇督軍李純氏は九日を以て南北安協救濟を打切り南京に戒嚴令を布き津浦鐵道浦口徐州間は兵馬の往來繁く貨物車は悉く軍用に供せられ居れり(北京特電)

◎倪張大いに備ふ

倪嗣冲、張敬堯兩氏は其管下に戒嚴令を布き津浦鐵道の貨物車を徵發したり(北京特電)

◎政府調和使急派

馮總統、王總理は八日各々其親書を與へて特使二名を南京に急派せり之時局多難の今日若し李純、張敬堯の軍衝突せば大局益々收拾す可からざるに至るを以て之が調和に當らしむるが爲なり(北京特電)

◎海運界色めく

船舶管理令に對する政府の方針は……にては非常手合せを見るに至り市場け幾分 ▲立直りの氣味……る積極的に安値引合に應せず例令契約するも長期引合は成る可く之……るを以て東洋方面に於る荷動きの旺盛となるは又當然の推測なる可……れとて其目的は直接間接に敵國を利すべき輸入出を取締り一面船腹……ヤーター界も亦漸次活況を呈せんと一般に觀測せらるゝに至り現に……も幾分強硬の狀態に轉化しつゝあるは疑ひなきが如し而して最近の

◎平沼檢事總長

平沼檢事總長は大審院檢事林頼三郎氏と共に十日朝關門通過小倉に立寄たる上福岡へ急行せり(門司特電)

◎徳川書記官來朝

支那公使館書記官徳川家正氏は日程を變更し十三日午前來安十四日發北京へ向ふ(安東縣特電)

◎林代議士南行

大連方面視察中なりし代議士林爲良氏は十日午後六時通過南行せり(安東縣特電)

◎首相官邸重要會議

▽外相其結果を奏上す

(東京特電)加藤海相、大島陸相、本野外相は十日午前九時相前後して寺內首相を官邸に訪問し軍事外交に關する重要なる會談を爲し外相は十時三十分退出協議の結果奏上の爲め參內し兩陸海相は居殘り更らに會談を繼續正午退出せるが協議の結果は近く實現す可しと

◎朝鮮刑事令改正の要旨

實體法上の區別を撤去す

昨年十二月八日制令第三號を以て朝鮮刑事令の一部に改正を加へられたることは當時其梗概を報道したるが更に本月一日の紙上に國分司法部長官の右に關する談話を掲載したるが尚少しく之を詳敍せんに同

▲改正の內容は 朝鮮人の特殊犯罪に限り依然効力を有せしめたる舊韓國刑法大全の規定を廢止して內地の刑法に依ることゝし司法警察官が刑事訴訟上假豫審處分又は急速處分等を行ふ場合に於ける手續上の行爲を簡約にし及び上告裁判所檢事の爲す附帶上告提起の方法に關し從來の不便を除きたる諸點にして即ち從來內地人と朝鮮人との間に殘存せる唯一の實體法上の區別を撤去すると同時に訴訟手續に關する事項の改正なりとす而して實體法上の改正とは明治四十五年朝鮮刑事令の

▲制定公布されたる趣旨が從來內鮮人の間に二種の法系存在せるを廢し且つ刑法大全の限定刑を最定刑と爲し刑の峻酷に過ぎるを緩和せんが爲めなりしも朝鮮人の強盜罪及び殺傷罪に關しては刑法大全の効力を存續せしむるの已むを得ざるを認め以て今日に迨べるが時機漸く熟し遂に道回の改正を見るに至れり蓋し時勢の進轉は鮮人の心理に影響し內地の刑法を以て之に臨むも朝鮮の治安保持上何等支障なき狀態に在るを認められたるが爲めにして茲に全く法規統一の

▲目的を達成し たるものなり次に手續法の改正は一、從來司法警察官が現行犯の假豫審又は非現行犯の急速處分等を爲す場合に於ては警察の內外を問はず立會人二名以上の參加を必要としたることを廢止し立會人を要せざることに改正されたると二、刑事令第三十五條第二項に上告裁判所の檢事の附帶上告は其趣意書を上告裁判所に差出すに依りて之を爲すにの但書を附加されたり其理由は從來趣意書を原審裁判所に差出すべき規定なりしも斯くては實際上不便尠少ならざるを以て之れを改められたるものなり

辯護士會長 ▲大久保雅彥氏談

今回、朝鮮刑事令の改正中、刑法大全の存置規定を廢止したのは寔に時宜に適したものである、國分司法部長官の談話として貴紙にも掲載された通り從來特殊の犯罪即ち強盜罪及び殺傷罪を犯したる鮮人に對しては、刑法大全の規定を適用することゝ成つて居たが、其

▲主たる理由 は明治四十五年朝鮮刑事令發布の當時は、名を義擧に籍りて所在集團的兇徒橫行し、間々或は心無き人民の之れに附和雷同するものありて、刑事政策上峻酷なる刑法大全の規定を存續するの必要を認められたからである、然るに現今に於ては警察機關の普及、人智の啓發、効を致して、司法上にも將た政治上にも之が存置の要無きに至つたのである、處で今にして改正前の事を顧みれば

▲實際變な感 じがする、或時吾輩は法廷に在りて一強盜犯人に對する裁判の言渡を聞いたことがあるが、犯人は數回の犯罪を重ねて少しも情狀の酌量すべきもの無きにも拘はらず、情狀を酌量して懲役何年に處すといふ樣な言渡しがあつた、之れは刑法大全に依れば當然死刑に處せらるべきものであるが、其れでは餘り酷であるのみならず、內地の刑法との權衡を保つ爲に言はゞ『情狀酌量』といふ口實の下に

▲刑の緩和か 行はれたものである、無論吾等法曹は然ういふ理由を心得て居るから別に不思議には感じなかつたが、世人は此の情狀酌量を何と思つたであらうか、啻に裁判の威信にも關するやうにも思做されて……、尤も英國に於ては、法律の改正を行ふべき社會の狀態に在つて、未だ之を斷行されざる間、裁判官が手心を加へる例も無いではないが、それとこれとは

▲似て非なる もので、如何に斟酌するも面白く無かつた、其規定が愈改正されたのは大に欣ばしいことである、次ぎに手續法の改正中、司法警察官が非現行犯の急速處分を行ふ場合に於ては從來立會人二名以上を要したものを全然廢止されたのは可なり何れとも問題の存る處であらう、元來急速處分は文字通り急を要する場合の非常處分であつて

▲原則として は司法警察官固有の職權に屬するものでは無いのである、故に人權擁護の上よりすれば立會人を增加せしむる方が宜しい、然れば十二分に司法警察官を信賴して立會人を廢することに改められたのではあらうが、事務の敏速を圖る爲めに或意味の人權の保障を撤廢するのは如何であらうか、少くも時期尚早と謂ふべきではあるまいか

▲私見を以て すれば、適當なる立會人無き場合、若くは立會人を參加せしめ能はざる程急を要する場合の除外例を設くる方が可くは無かつたかとも思はるゝのである

◎御旅行非公式

李王世子殿下には既報の如く十日午前九時東京驛御出發十三日午後九時南大門驛御着の豫定なるが今次の御旅行は公式に非ざるを以て送迎等總て非公式とて驛御著の際は總督政務總監文武勅任官等の御出迎申上ぐるに止むべしと

◎鐵道收入概况

滿鐵京城管理局に就き大正六年十二月中に於ける營業成績を聞くに客車收入五十五萬二千五百圓貨車收入五十四萬八千九百圓合計百十萬一千五百九圓なり而して此れを營業哩數一千九十二哩を以て一日一哩平均收入を換算すれば三十二圓十四錢にして前年同期に對比し一哩に四圓五十六錢の增收なりとす

▲旅館 京城外三驛所に於ける宿泊人員六百十二人にして此の收入一萬三千四百八圓十二錢なり而して之を前年同期に對比し人員に於て五十七人減少せるも金額に於て五千八十三圓八十五錢の增加を示せり

▲食堂車及喫茶店 客數四千百十二人此收入四千七百八十六圓にして前年同期より約一千六百餘圓の增收なり

▲倉庫 大邱外四十箇所の倉庫に於ける入庫數量合計一萬七千八百十一噸出庫數四千八百九十二噸……前年同期に比し……の增收を見たり

◎各首相會同か

聯合國の各首相は英國首相ロイドジョージ氏の演說に續いて一般的陳述を爲さん爲め近く巴里に會同す可しと期待さる(巴里電報)

◎伊國軍人救護省

伊國にては軍人救護省を新設しビツソラチ氏同省大臣に任命せられたり(倫敦電報)

◎各學校冬季休業

朝鮮の寒氣は內地に比し猛烈なるより小學兒童は通學に困難を感じ北鮮地方殊に咸鏡南北道等の小學校の如きは冬季休暇を延期せるが先般京畿道に於ても各學校組合に對し從來の冬期休暇以外一月中旬より廿八日間休業を延期の意味にて臨時休業を爲す事を得しめ夏季に於て適宜之れを補充する旨の內示を爲せる事は既記の如くなるが府內普通學校にては愈々來る十六日より向ふ二十八日間二月十二日迄延期することゝなるに至るべしと

◎國境貿易概况

新義州稅關事務官 寺尾規知郎氏談

新義州稅關は年々貿易額膨脹し大正五年に於て六百十一萬三千二百卅四圓に達し之れを以て記錄破りなりと稱し居りしが大正六年十一月末の統計を見るに實に八百五十八萬三千七百卅六圓に達せり當稅關の主なる輸移出物は米、木材、穀類其他雜貨にして輸移入品は石炭、粟、木材(支那材)其他雜貨等なるが大正五年は

▲之等貿易品の 外に機關車、鐵橋材料の如き臨時の輸移入品あり大正六年の貿易額は如斯千萬圓に上らんとするの盛况にあれば新義州を中心として西鮮各地に於ける產業の發展を窺ふに足るべし而して大正七年度に於ては朝鮮製紙會社の創業義州作蠶會社事業の擴張大正水利組合其他各地水利組合事業の完整に伴ふ農事の擴張及び各種鑛業の發展等に依り新義州稅關は尠くとも

▲一千五百萬圓 以上の貿易額を示すべく豫想するに難からず目下新義州に集る旅客は黑鉛業者にあらざれば木材商、木材商人にあらざれば黑鉛商人にして即ち木材と黑鉛とは現下新義州發展の要素なりと云はざるを得ず(未完)

◎辭令

十二月二十八日附を以て左の通り辭令ありたり

平壤鑛業所技手 田頭關義
任朝鮮總督府平壤鑛業所技師 敍高等官七等九級俸下賜

片山嵓
任朝鮮總督府中央試驗所技師 敍高等官六等四級俸下賜

人事消息

▲三島剛四郎氏(東京セールフレーザー社員) 朝鮮ホテルへ
▲鏡本與二氏(久原鑛業會社員) 同大邱へ
▲津村甚之助氏(朝鮮銀行平壤支店長) 九日歸京

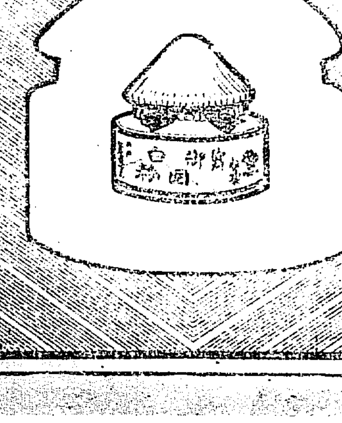
◎露國百種◎

トボルスクの配所にあつたニコラス廢帝は今度クロンスタットに移されたらしい ▲廢帝は性來音樂が好きで皇帝時代には二三の音樂倶樂部の會員となり更に自身は角笛のテノアの謠ひ手として自身屢々各種の集會で演奏した事もあつた ▲トボルスク配流後退位前後の感想から新露國に對する希望を作曲し『新ロシヤ』の樂譜を作らうと苦心して居ると云ふ事だ ▲クロンスタツトへ送られても其を續けて苦心する事だらうが過激派政府も何うやら沒落しかけた ▲露國の狀勢は最急調と最低調とサプラノとベースと混淆錯雜して取り止めの付かぬ狀態である ▲廢帝ニコラスは如何なる諧音の合奏樂を作る積りか大分骨の折る事だらう ▲海軍省高級副官小林大佐が曾て平戸艦長として南太平洋に策動中の話に ▲木曜島附近の或島で山崎と云ふ男に會つたが人食人種を使つて海鼠を採つて居た ▲彼が此の男の身體には一面の文身があつてさしもの食人蕃の目にも異樣に見ゆるので彼の前には猫のやうに柔順だそうだ ▲而して其の文身を資本に蕃人を脅かしつゝ一年に四五千圓位の金を儲けて國元へ送るのだと聞いて一寸面喰つたとか ▲或る皮肉屋の老人が國民黨の伊東知也君に向つて『國民黨は今幾人だい』神谷が入いつて三十六人サ』と答へると ▲老人即座に曰く『三十六人とは數がいゝね三十六計は逃ぐるに如かずだせ』は振つて居る

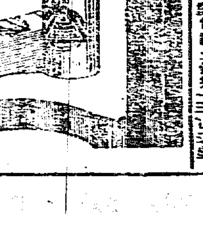
大阪商船 [illegible]

たんせき良藥セキドミン 拾錢 貳拾五錢 五拾錢

御園白粉



LEGUMON 新滋養劑 レクモン
肺結核、慢性腎臟病、糖尿病、乳汁分泌不足、熱性病並に其恢復期其他一般病中病後の衰弱に對して最も有力なる營養增進と強壯の効を奏する代表的國產滋養劑



定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
說明書無代贈呈
大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛

上旬報告 時音債券 [illegible]
謹賀新年 勸業債券 第六拾七回 [illegible]
◎債券の案進呈
和田合名會社

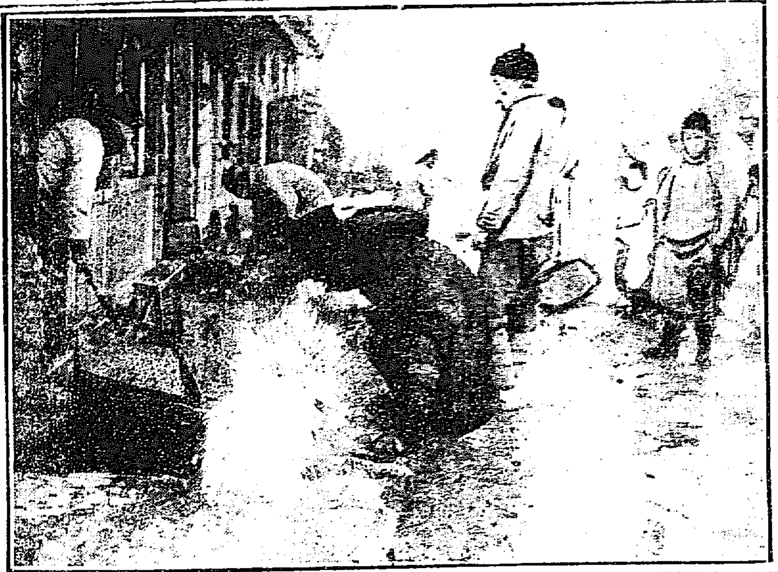
天覽台覽 蘇峰文選
明治大正年間の一大產物!
本書は國民新聞創刊二十五年記念出版にして、蘇峰學人が三十年の記者生活に於ける努力の代表的傑作の精髓たると共に、文章報國を畢生の天職とする吾人彼れ自身の活歷史たるのみならず、又た一部の明治史也、國力發展史也、文學史也、社會評論也、明治大正時代の日本國民必讀の敎科書也、精神的修養の指針也、孟子の所謂集めて大成するとは、本書の如きは眞に天下必傳の書と謂ふ可く、發行以來江湖の大喝采を博しつゝあるも決して偶然に非ざる也。
發行所 東京市 民友社
總クロース上製函入 菊版一千五百餘頁 定價金三圓五十錢 特價金三圓
▼賣捌所 京城日報社代理部

…と次第に接近し所若相互間に或る與國へ本邦船三十萬噸提供問題も了解を得たるかの感ありて翼日の曉せらるあり先づ此邊が底ならん如き危惧の念は薄らぎ實際需用筋との見解の下に前途を樂觀し船主…の船腹…道もある事なれば東洋方面に殘留せる聯合國側並に中立國の船舶が同方面に向ふべきは自然の勢な…

▲輸入制限問題 …傭等の大量貨物を始め六十餘種の商品に對する…なるが之に對しては多くの悲觀材料の横たはるを見られざるに依り從って…測せられ居れり左れば斯界の前途…

（保合）小型船二十三五圓（前旬に比し二圓見當高）米國航路船三十四五圓（一、二圓方高し）見當を以て引合せられ大體保合に傚する…

▲一月下旬…き船舶は左の如し
船名 噸數 引渡期 航路及期限 傭船料 [illegible]



◆この寒中に水騷ぎ　夕刊にある通り正月早々から吉總督府通りの水道鐵管が破裂し數十戸の浸水家屋を出してこの寒中に一時は大騷ぎであつた。

關釜連絡大飛行!!
◇愈々來る三月上旬と決定◇
操縱者は後藤佐藤の兩氏　百哩を二時間で突破せん

帝國飛行協會にては愈々來る三月上旬改造モ式七十馬力新造飛行機にて後藤、佐藤兩氏操縱の下に關釜連絡大飛行を行ふに決したるが下關釜山間百哩は二時間にて突破し得可きも四時間の飛行に耐へ得るタンクを設備し場合に依りては壹岐對馬著陸の許可を受け萬一の變に備ふ可しと（東京特電）

煉炭の飢饉から
高い石炭を用ひねばなるまい

京城には煉炭が缺乏したと言ふ噂が昨年末頃から聞ゑて居たが昨今は更に一層甚しくなつて是まで煉炭で暖爐を焚いて居た處は高々の石炭を用ゐねばならず火鉢も木炭に更へねばならぬので一方ならぬ恐慌を惹起して居ると言つて寺洞鑛業所には絶無かと言ふにそんな事はない一千噸からの煉炭は▽山と積まれて各地に配給さるゝのを待つて居るが煉炭輸送の貨車は乏しく、牽引力も又不足して居るため需要最盛期に入つてから反つて輸送が少くなり其の少數の煉炭も各地電燈會社に供給せらるゝのであるから一般の暖爐用には廻つて來ない筈で獨り京城地方のみならず▽朝鮮一體に渉つて斯くは煉炭の飢饉に苦しめらるゝに至つたのである、其結果撫順塊炭二十七圓と云ふ無類飛切の高値に驚いて煉炭に代替した向も又再び▽石炭を焚く事になり經濟上勘くとも三四倍の損失を見ねばならなくなつた。炭業者の一人は何分煉炭專用の貨車の不足と牽引力の尠いために産地に滯積し地方には拂底して居るのであるから近い將來需給關係が圓滑になるか何うかは不明であるが何れ何等かの方法に依つて▽需要者の渇を滿すに至るであらうと言つて居るが一手販賣の三井に問合せると煉炭專用の貨車は五十臺に過ぎないが其等は多くは平壤附近に運轉せられ他の線に廻されるものは牽引力の關係上殆んど廻つて來ないしそれかと言つて他の貨車を代用する事は難しいから如何とも▽致し方ない　と情ない事を言つて居る、石炭の相場は相變らずである、在荷は需要を滿すには充分であるが薪炭類は相變らず貨車不足で地方からどんどん入荷がない雜木三十貫二圓三十錢根炭一圓十錢内外であるが當業者は餘り荷が尠いので心細いと異口同音に言つてゐる水に見限られ火に縋られる市民も難儀な事だ

高田藥品倉庫爆發
二棟を燒く＝原因は硫酸
△被害の程度は判らぬ

十日午後一時四十分東京府下池袋なる高田倉庫株式會社藥品倉庫より發火し忽ち同倉庫を燒き盡し第二倉庫に延燒し二時過ぎ鎭火せり原因は硫酸の爆發なり（東京特電）

雪の北越　旅客の困難
排雪車も威力を振ふ能はず

北陸線猛雪猶歇まず今庄以北三國七尾二線は九日午後辛じて開通したるが直江津以北全く不通山陬の埋沒せる列車は掘出し不能にて柳ケ瀬隧道の急勾配は積雪一丈四尺に達し堅く凍れるよりラッセル排雪車も威力を完うする能はず所々にて排雪車埋沒し旅客困難を極めつゝあり▽富山は紙と石炭の供給絶に新聞は休刊し工場等は休業の已む無きに至り福井縣鯖江の三門徒大山本堂倒れたり又東海道は辛うじて運轉し孰れも大遲延を爲しつゝあり山陰線鳥取附近は積雪七尺列車の運轉困難なり（大阪特電）

製麻工場燒く
乾燥室より發火

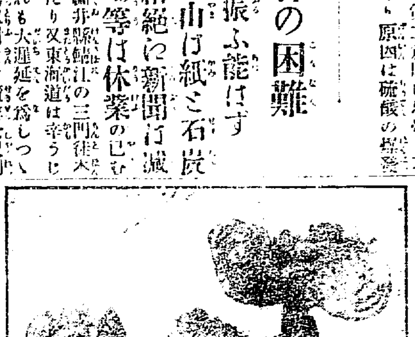
十日午後八時三十分頃竹添町三丁目二番地製麻織物會社工場乾燥室より發火したり急報に接し鍾路署、常備消防隊等驅付け消防に盡力したる結果同工場一棟（約二百坪）を燒失したる後同九時三十分漸く鎭火したるが火の原因、損害程度其他詳細は本稿締切まで判明せざりき

▲發火の原因　別報に依れば燒失せるは前記乾燥室及び經緯絲工場の二棟にして原因は染色せる絲を暖爐裡の炭火にて乾燥中絲に燃ゐ移り斯くは大事に至れるものゝ如しと

◎群山教育會へ一萬圓
寄附　熊本農場主

熊本農場主熊本利平氏は十日群山へ來り群山教育會長天野府尹を訪問し群山教育會に對し獎學基金として金一萬圓の寄附を申出で天野會長は直に快諾これを受納せり（群山特電）

◆稀しい靈芝



此の靈芝は昌慶苑博物館内に出來た芝であります…此の菌は[illegible]…日本内地では…（以下不鮮明）

盲腸炎の話　=1=
總督府醫院醫官　植村俊二氏談

▽怖るべき暴飲暴食の祟り

盲腸炎といふは本來『盲腸』に著いてゐる小指大の蟲の樣な突起の疾患であるから『蟲樣突起炎』といふ方が正當であるが一般の通稱であるから盲腸炎で御話しやう。此病氣の原因は極めて多樣であるが矢張り腸の一部分であるから食物に關係する事項が最も主要なるものである西洋では『月曜日盲腸炎』といふ俗稱がある（日曜日に郊外散歩に出かけて此處彼處の）レストウランで暴飲暴食を爲し其祟りが月曜日に現はるゝ故である　さて本邦にては習慣上新年に入つて多少の不攝生は何人も免るゝ事が出來ず況して青年男女は不消化物の暴食により胃腸を損ね自然盲腸炎の原因を作る機會も多いわけである。私は此際是非共此恐るべき病氣に就て世人の注意を喚起したいと思ふ

◆盲腸炎は内科と外科との境にある病氣である

先づ腹痛を以て發病する故第一に内科醫の診療を受け鎭痛の爲にモルヒネの注射を受くるが常で、引續き安靜、局所の氷罨法、流動食等の内科的手當にて多數の場合は治癒するものなれど少數のものは決してさうではないモルヒネの注射の爲疼痛は柔ぎ患者の苦惱は緩解ぎ幾分氣を許せる間に病氣の方は構はず進行する、斯の如き症狀を呈して居る病人がある之を『懷疽性盲腸炎』といひ電光石火も啻ならず

◆一兩日の中或は既に發病後十二時間前後にして

腸壁が穿ち破られ蟲樣突起の内容は腹腔内に漏出て忽ち腹膜を汚染し『急性化膿性汎發性腹膜炎』といふ恐ろしき病氣を惹き起す是れ斯る狀況となつては最早此の病氣は全然内科的のものでないのみならず、外科的療法を加ふるも其効果は必ずしも期待出來ないのである

◆盲腸炎の多數は内科的療法によりて好結果を奏する故に

主治醫もウッカリ氣を許し又患者も可成く簡易な治療を希望する結果遂に少數の犧牲者を出す事になるのである此の犧牲者こそ實に不幸の人であると思はるゝのは早期に適當なる處置を執れば或は貴重なる生命を失ふに及ばずして濟んだかも知れないからである言葉を換へて謂へば重症盲腸炎必ずしも死病でない私は屢々斯る不幸なる患者に接した、而して猛烈なる『穿孔性腹膜炎』を疾む

◆患者の多數は誠に見事なる體格を持つ壯年者なる

故に一層同情を禁じ得ない次第である。此の危險なる穿孔を來す『懷疽性盲腸炎』を普通の輕症と區別し適宜の手段を講ずるは勿論主治醫の才能に一任する外はないが患者の周圍にある人々の理性の判斷も亦甚だ必要である又斯る危急の場合婦女子の僻みは嚴禁である事は勿論である。

◎加藤辯護士代理人
檢事局へ送らる

大邱學校組合議員、大邱商業會議所特別評議員の肩書を有する辯護士代理人加藤十郎は…大邱警察署に引致されたるが警察にて取調べを了したるを以て九日午前十時大邱地方法院檢事局へ送致されたり内容の詳細は未だ發表する自由を有せざるもの…（大邱）

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は愈々十一日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

（大錦（西の海（栃木山（九州山（源氏山
（朝潮（黒瀬川（鳳（大潮（大鳴門
（兩國（宮城山（常の花（對馬洋（福柳
（千葉崎（錦島（敷島（大戸平（二杉磯

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顔合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は一月十三日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必ず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事（當選者發表の場合は抽籤にて定む）

賞品

△一等一人　銀側懷中時計一個△二等二人上等反物一反△三等三人　上等卷煙草一ボール宛△四等十五人　上等福袋一個宛△五等三十人

（源氏山（宮城山（兩國
千葉崎（栃木山　綾川
九州山　黒瀬川
眞砂石
△中入後
（若常陸（綾川（大門岩（一港
金剛（玉手山（彌高山（藤の川
大の高（響馬洋（宇都宮（駒ケ嶽
大ノ瀬（柏戸（大鳴門（伊勢ケ濱
常の花（大戸平
鳳

◎初日取組
太刀山西朝潮石山古州山休場

九段大角力十一日初日取組は十日午前八時左の通り發表せり（東京特電）

（殿り）大蛇山（八甲高（東）鍾ケ崎　朝潮
高千穂（達ケ濱　矢筈山
若の浦（鶴渡（龍ケ崎　八甲山
友綱（西山（玉の井　琴ケ濱
福柳（鬼鹿毛（釋迦ケ嶽
二杉磯（
逆鉾（達ノ矢（小常陸
浦の濱（錦
[illegible]

太刀山及び西の海は神經痛、朝潮は胃腸病にて休場、石山は病後、古州山は歸郷にていづれも休場することゝなれり

◎無門會例會　無門會にては來十二日の第二土曜日に南米倉町京城俱樂部に例會を開き後藤瑞巖老師を招じて新年の開講を爲す筈也と

えんげい
◎黄金館　十一日より…『すがた』全十五幕活動寫眞…
◎浪花節　…
東京落語…

▲京城郵便局では電話の交換手にも郵便集配人にも新年の事とて祝意を含めて贈物は遠慮すべく又交換手に對しては電話がかゝつて來た時、集配人には元日に年賀狀を配達する時、よく「お芽出度う」と挨拶をすることにして居た▲が新年一日或る使用者が電話交換手に「お芽出度う」と云ふた小言の云ひ初めになつて交換手を呼んだ處が電話番號の方ではこの番號の人は「八釜しやい」といふことを知つて居るが先づ「お芽出度う」と挨拶して居る「五百番について五百番の方でも先づ「新年お芽出度う」と機先を制したので▲流石の先生も折角のカンシャク玉も破裂させずにウフフフと叱り乍ら引き下つたとの事

◎竊盜詐欺には　飛ん田の勝治
…三十五圓預入れの預金通帳…京城府…町…に於て…竊取し…被害者名…

開店御披露
弊店儀從來度量衡器賣業に從事致居候處今回新たに雜貨部開始致候間倍舊の御引立奉願上候
京城…町　和洋酒類食料雜貨商　棧橋商店雜貨部　棧橋勝次郎

能く賣れる

Mゴムマリ
M印ハ丈夫キョーアカルクテ
發賣元　大阪　飯田商店

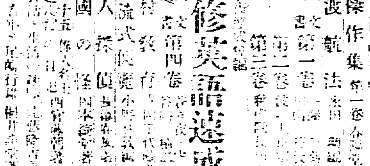
賀正
新年　運勢
貳月　六拾七回　同番
…特價提供…
小尾爾替

榮養ヲ增進シ　精力ヲ旺盛ニス
グリコナール錠
東京室町　三共株式會社

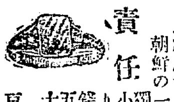
陸軍拂下
佐藤古着店

最新刊
春の海
紅海
浪六傑作集
新渡航法
自修英語速成
大阪屋號書店

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋　香月商店
京城府明治町二丁目　振替口座京城四八四　電話六…

新築落成　ご大勉強
背景に南山を控へ眼下に京城市街を瞰し宴會に御便利な小座敷の御用意あり…
一日園


恩給年金立替
京城南大門通五丁目　大成社

責任保證

純金指環御安價
…
友助堂時計舖

模範牛乳
ニウソ
東京畜産…

立志美談孝子の鑑
脊割五郎正宗　孝子傳
右は今回弊社獨得浪花節連鎖大寫眞として嶄新なる撮影を以て完成仕候に付ては豫て錦地へ派遣多大の御好評を蒙り居候桃中軒雲右衛門儀御名殘狂言として弊社特約黄金館に封切公開致す事に相成候へば是非共御高覽御高評を賜り度伏而奉懇願候
一月十一日より　敬白
天然色活動寫眞株式會社　大阪支店

黄金館犧牲的大提供
△故桃中軒雲右衛門秘傳
△福右衛門最得意の語物
△浪花節連鎖活動寫眞
脊割五郎正宗孝子傳　全七十二場
江戸の花咲ひて凛々！
新派　鳶すがた　全十五幕
△連續活劇　赤い目　全四卷　内第十一、十二、十三篇上場
十一日より毎夜正六時開演
黄金館

櫻御殿

第百十七回　大阪　霞の家主人

編笠浪人（十二）

桐島は路傍に悄然と佇んで、もし父が還りはせぬかと待つた、月はいよ／＼澄むが、心の底はいよ／＼曇る、早や子刻近い星影が閃めくのに、利右衛門の姿は見えぬ、家には客人の惱みがあり、外には父の苦勞がある、桐島は一歩行き、また滯としてから一歩行く、もし懐に多少でも金があつたら、米屋の表戸を叩き割つても、一升二升の無理を云はうものと思ふが、借錢ほど恐しく堅いものは無い、あの表戸一枚が鐵の扉である、

人とはあるまじき優しいお方、あの方のお袖に縋つて、何處へでも同道して歎からうか、いや／＼、そんな事をしては誰がお父さまの御介抱をするであらう、やつぱり何時までもお側に居て、孝行を盡さねばなるまい、爾うして日數を經る中にはお父さまのお心も直るであらう、家の運も向いて來るであらう

けれども若しお父さまの御氣質が段々惡い方へ傾いたら、わし達の運命は何となるであらう、罪も報みもない者をお手にお掛けなされた訓で、生きながら地獄の底に沈むか、佛神のお怒りを受けて、餓鬼道の苦を受けるか、將來は極つて居る、わたしは何樣苦勞もするお父樣を畜生道へ落しては、子と生れた甲斐がない、廣島のお城には、たつた一人の叔母樣がお在でと聞けど、何百里の彼方なれば、頼ない身が行きはならず、何うしやう／＼

つた、然もお父さまはその御資を奪らう爲めに、辻斬へお出かけなさる

この苦勞が何時絶わろ、斯うした生涯がいつまで續く、さうして末には何となる

斯う思ふと、心細さが犇と迫る、父を恨み憎んでは濟まぬ／＼と思ひながら、酒の外に人情もなく、強い外に義理も無く、斬取强盜を真の道でどもある樣に思召して、曲つた方へお進み遊ばす、舌の根の爛れるほど意見してもお取り上げは絶わてない、いつそわたしが居なんだら、少しはお心が直るかも知れぬ、今までも海の淵、河の堤へ、幾度行つたか分らぬが、愛著の繩に引かされては、空しく家へ跪つて來た、けれど今度は……今夜お泊りなされたお方、世に二

と思ひ惱む胸底へ、箭の如く鋭く立つは、「お客さま空腹じからう」との同情であつた、とても角ても助かるまじき命、同じ死ぬなら、このふまじき命、生きて望みの協ふ身を客人の前へ捧げ、米も無く、麥も無い家の馳走に、此の身の肉を參らせやう、わたしの肉を切り焙り召し上つて、少しでもお客さまの飢が兎れたら、これに越した歡びではない、路に病む客人を宿し參らせ、一椀參らせる飯がなくて肉を切り、骨を刻んで饗應したと知りたまはゞ、お父さまも我をお折りなさるであらう、さうしたら犬死でない、家の爲めであり、お父さまの爲めである、さうむやわしの行く道が開けた、この命を齎く賣る時が來た

桐島は斯う思ひつくと、歩早に家へ歸つた、もしやと思ふて外面から覗いたが、利右衛門の歸つた樣子は見わない

宗之助は足音を聞きつけて、其の間から走り出た

「御苦勞でござりました、御飯は此方で焚きます、どうぞお米を貸し下さい」

桐島は沈着いた心で、大きな覺悟の上に置いた

「只今お上げ致します、一寸お待ち下さいまし」

云ひながら縁から上つて、襟が記念の短刀を懐へ潜して出た

主膳は燈火に脊を向けて、痛む足を揉んで居た

初東風　（新年兼題俳句選）

海風を初東風と松晴れて　十八公（龍山）
初東風に搖ぐ厨の火影哉　抓角（同）
初東風や海に落入る磯の松　愚佛（同）
初東風や南縁に旭に咲ける花　鵬雲　報恩
門松に初東風渡るみの町哉　龜岡（鎮海）
初東風や大顛に和す磯馴松　砂泉（平壤）
初東風や鎮守の森の朝灯　一笑（同）
初東風に屋根に弛む凧の糸　白雨（仁川）
初東風に動ける熊や鯛の髭　総二（同）
初東風に燃る八ツ口の帯哉　花翁（同）
初東風や廓に残る夜の灯　御笛（仙川）
回禮の脊に一斗の初東風や　浜思（元山）
酔顔に初東風和う戰ぐ哉　琴浪（土城）
閑な梅初東風に若さらみぬ　ふみ（同）
初東風に紬繝並べて「廿」船哉　翠巣（海州）
初東風に艫の艘明けて　一樹（同）
初東風に炭賣翁下山哉　存口（同）
東風初ある若汐に二艘相競ふ　青水（同）
初東風に汪連の戰も有難　武千
初東風に自帆搖ぎて飛ぶ鶴　[illegible]
初東風や落葉傾き犬　一れ
初東風に出船の長旗はたたき　[illegible]
初東風に燈籠傳馬卸し居　打村（釜山）
初東風の旭に軍鶏の調歩哉　[illegible]
初東風に高鳴る下駄　敦子（釜山）
初東風の波の磯の松並木　閑山（清津）
初東風や船[illegible]　[illegible]
初東風や日の[illegible]　[illegible]
初東風の庭の[illegible]　[illegible]
初東風や街に歸[illegible]　[illegible]
初東風に殴々[illegible]　[illegible]

西洋料理すき燒　カフヱータイガー　[illegible]

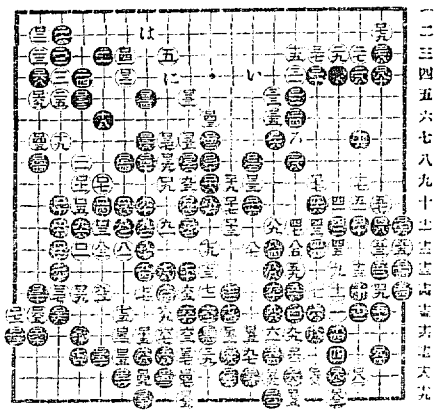
△石油時報（新年號）
△趣味新報（一九）
△大寶道（新年號）
△英語俱樂部（二月）
△青年界（新年號）
△商と工（新年號）
△住宅（新年號）
△大阪銀行通信録（二四四）
△月報（二月）
△極東時報（四八）
△幼年新聞（新月）
△大阪朝鮮貿易商報（一五八）
△探偵雜誌（新年號）

京城本町　千代田號印舗

碁戰

十番碁　第三局の九（完）非

三段　山半　[illegible]氏　二子　大久保雅彦氏



□六七（ト／十八）劫トル□七十（ト／十七）劫トル□[illegible]（ト／十八）劫トル

講評　黑二十は二九に締るを適當とすされば此場合白は是非もい印に應ずべし譜の如く白既に十七を打著しある場合に補空にして二七と打込まれては黑面白からず黑三六の刎ねは不印に行ひ其時白三七と備ふるを穩當とせん而して後□五七若くは三七の大場に據るべし白三九は右側の黑軍餘りに堅固なれば一路控へて□五七に打つべかりし黑四十の打込み早計なり五八と詰むべし四四の刎ね出し惡し單に四八に下るべし白六一の覗き重し六二と飛ぶか□六四に二折すべし黑七十は七七に引きて戰ふべし九四は打たざるを善とす□二四は印に斜走する方有利にして善し□六二は兎角□六三と引きて劫戰を避むべし黑□七四の劫立は如何にしても印に立てさるべからず譜の如く振り替りては勝敗の數定まれり要するに本局は四十の打込早計に失したると右上隅の締りの著手を誤りたるを以て敗因とす

日本對支貿易

[illegible]の一億六千四十九萬七百二十兩に比し約九千萬兩の下位にあり然るに四千六百二十四兩を加ふるも遂に及ばざる事約七千萬圓となる是[illegible]從來英國は其貿易額に於て各國に[illegible]統計面上何ほ各國貿易額中の最[illegible]以て若し我國の貿易額[illegible]支那總税務司[illegible]

[illegible]

林病新藥

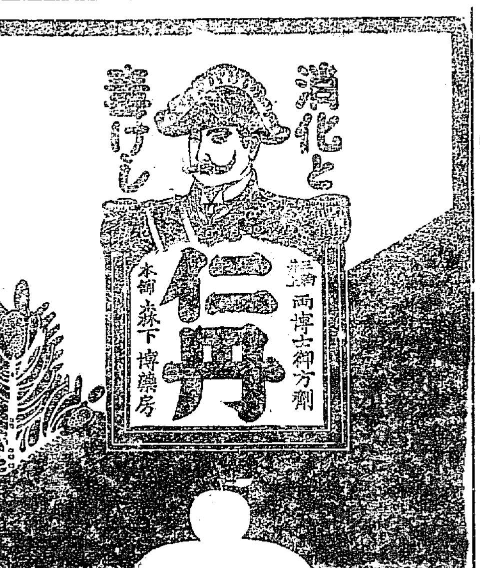
ゴンチール

特長　極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ

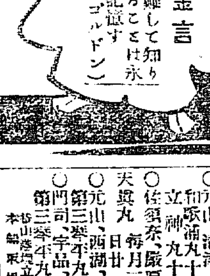
一容器　三十球入 六十球入 百球入

◎各地有名藥店ニアリ
◎説明書ハ現品ニ添附ス

大阪市道修町
製造發賣元　藥品問屋　西村藥林社
電本局二四九一番
振替大阪七五九〇

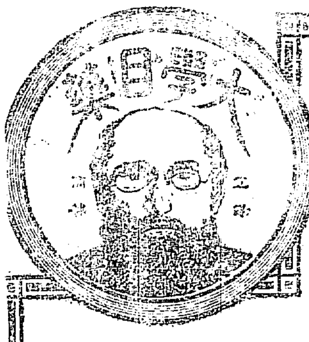


消化と毒けし



三博士御方劑　仁丹　本舖　森下博藥房

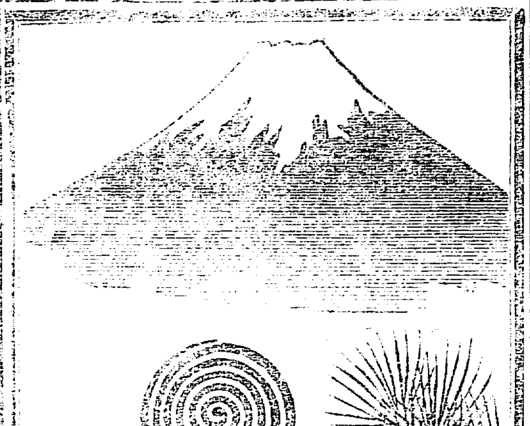
仁丹のめば　ニコニコし、ニコニコすれば　福がくる



金言　困難して知りたることは永く記憶す（ゴルドン）

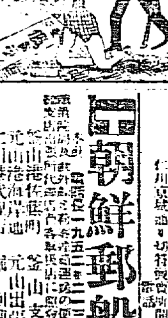
大學目藥

倫敦にも巴里にも……是程點眼藥は無かつた
點眼藥の御用には大學目藥を一番能く賣れる目藥はご試みに御地一等の藥店で一番能く賣れる目藥はご詮議ねがはれば……
大學目藥だと御返事致します　其れが何よりの確かな證據です



定價 拾錢 廿錢 拾錢 五拾錢

本舖　大阪　合資會社　參天堂藥房　電話本局 一二〇〇・二〇〇五



富士の白雪

大自然の犯しがたい氣高さは日本の誇でござるます
美しい素顔、何人にも尊き面貌は新進智識階級の紳士淑女の誇りでござるます

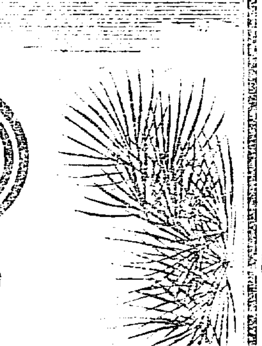
ウヅマキ石鹸

愛用者の

東京　天野源五郎　商店

骨つぎ治療
明治町ふらんす教會前　荒川仁壽堂　電二五九番

りん病ばい毒　患者諸君
Ｗにせドラッグあり御注意
近來京城邊ドラッグあり唱へ賣らるゝ品あり當京城に當商店以外にドラッグ商店無之候間御注意あれ
詐欺漢なり
詳細本月七日の本紙廣告
花柳病專門藥房　京城南大門外　ドラッグ商會　本舖



業務親切　倉庫完全
明治町二丁目（交番東小路）
片山質店
電話二六五二番　振替京城三七〇五番
勸業貯蓄債券高價買入

汽船 釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　一月四日後五時出
立神丸　十二日後五時出
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸　一月廿四日後五時出
立神丸　一月廿三日後十時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
○第三琴平丸　元山、西湖、新浦、城津、清津行　一月　日後六時出
○第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　月　日後六時出
本社　釜山本町　大池回漕部

尼崎汽船 仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　一月廿一日後四時出
大有丸　一月十四日後四時出
君代丸　一月十七日後四時出
神代丸　一月　十日後四時出
仁川海岸通二丁目　仁川大阪汽船　島杉回漕部

日本郵船 仁川出帆

○大連行、秦皇島行
三河丸　一月十日　正午出
營口丸　一月廿一日
商砂丸　一月三十一日
仁川 [illegible]　堀回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆

芝罘、大連行
共同丸　一月十六日午後八時入港　一月十八日前十一時出
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
仁川代理店（電話二四七番）　田口回漕部
元山代理店（電話二〇七）　河村運送店
京城取次店

朝鮮郵船

○元山より北朝鮮各港行
穩城丸　一月五日
鏡城丸　一月九日
京畿丸　一月七日
忠清丸　一月十三日　元山發
○大阪神戸行（釜山門司經由）
平安丸　一月七日　一月九日　元山發
○元山ヨリ釜山[illegible]
第二商運丸　一月廿四日　元山發
京畿丸　一月十五日
○元山ヨリ迎日灣[illegible]
成鏡丸　一月十一日　元山發
忠清丸　一月廿一日
○釜山ヨリ[illegible]
彰德丸　一月二日　釜山發
○浦項行（[illegible]）
江陵丸　毎日　釜山發
○済州島行（[illegible]）
昌平丸　一月五日　釜山發
○済州島行
西廻、東廻、公州丸、慶興丸　一月二日　一月八日　木浦發
○釜山、鹿水里
統營丸　毎日　釜山發
○木浦ヨリ[illegible]
順天丸　三日目毎ニ　木浦發
慶興丸　一月三日　木浦發
○仁川木浦行
晋州丸　一月七日
金海丸　一月二日　仁川發
○仁川鎭南浦行
宗清丸　一月　日　仁川發
○済州行
全州丸　毎日
南陽丸　休航
三十一日ハ休航一月一日モ休航　仁川發
○青島行（芝罘、大連經由）
江原丸　一月六日　仁川發
○清津行（大阪神戸門司より）
平壤丸　一月十一日　一月十三日　元山發

釜山支店　元山出張所　仁川出張所　[illegible]
朝鮮郵船株式會社

大阪商船株式會社仁川支店　汽船出帆廣告

×神戸大阪行（經由釜山）
大智丸　一月十四日　午後[illegible]
×木浦、釜山、嚴原、門司、神戸
安東丸　一月十五日
×安東丸　一月廿三日
○大連行
[illegible]
○西湖津、新浦、城津、清津行
宮島丸　一月十二日
○釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
宮島丸　一月十七日
○上海、基隆行
湖北丸　一月十四日
基隆丸
南米行　毎月一回
北米行　毎月二回
濠洲行　毎月一回
南洋行　毎月一回
[illegible]